

copeしが  
CSR Report 2007

私たちには、モノサシがあります。



# CSR Report 2007

◎ 生活協同組合コープしが

〒520-2351 滋賀県野洲市富波甲972  
☎077-586-1112

この印刷物は古紙を含んだ紙を使用しています。  
2008年6月発行

コープしがは1999年7月に  
全事業所でISO14001を  
取得しました。



# 組合員と共に歩んでいきます。



地球上にすむ生物は、一つの生命体から進化した家族であり、それらは地球から多くのことを学び、発展してきました。1993年3月、滋賀県の4生協は“自然・世界とともに発展する生協”をキーワードに「コープしが」として新たに発足しました。

シンボルのスパイラル(うず巻き)は、コープの「C」を表すほか、巻貝、蔓、渦、波紋、風などの自然を象徴し、さらに、求心と拡大、進化の軌跡などの発展を象徴しています。

私たちは、いつも大きな共同体の一員であることを意識して生きていきたい。  
そして、「公平さ」「賢明さ」を大切にして生きていきたいと思います。

## コープしがのあゆみ

### 目 次

- 2 …発行にあたって
- 3 …コープしがのあゆみ
- 4 …ごあいさつ

### 理念と運営体制

- 5 …コープしがのめざすもの
- 6 …コーポレートガバナンス
- 7 …コンプライアンス

### 組合員のために

- 8 …安全・安心の追及
- 12 …組合員の声を活かす
- 14 …コープしがの事業

### 地域社会のために

- 16 …コープの活動と地域コミュニティ
- 18 …福祉の取り組み
- 19 …社会貢献活動

### 職員のために

- 22 …働きがいある職場環境づくり

### 地球環境のために

- 24 …地球温暖化防止・エネルギー対策
- 26 …環境配慮商品・リサイクル活動
- 28 …環境マネジメント
- 31 …環境活動年譜

### 1972年

- 4月…「湖南消費生活協同組合」設立
- 7月…「大津生活協同組合」設立

### 1976年

- 12月…「山東消費生活協同組合」設立  
(後に、滋賀県北部生活協同組合へ改称)

### 1979年

- 3月…「滋賀県東部生活協同組合」設立

### 1993年

- 3月…「生活協同組合コープしが」設立
- 4月…関連会社「株シガフードプロダクト(食肉の加工)」設立
- 10月…コープしが1号店「シルヴィコープ彦根」開設
- 12月…「草津センター」開設(野洲、栗東、草津センターの統合)

### 1994年

- 6月…コープたすけあい共済受託事業スタート
- 12月…関連会社「有滋賀有機ネットワーク  
(農産・青果等の生産加工)」設立

### 1995年

- 1月…「商品検査センター」開設
- 3月…JA滋賀経済連との「県内農産物の発展協力に関する協定」締結
- 4月…「Kネット協同連帯機構」設立加盟  
「近江八幡センター」移転
- 6月…「ミニコープ野洲店」移転
- 9月…子会社「株タクス(保険・サービス)」設立
- 11月…子会社「株コープシステムサービス(物流関連)」設立

## 発行にあたって

生活協同組合コープしがは、1993年3月に滋賀県内4生協が合併し環境元年宣言を発表しました。1995年に環境憲章の制定や環境管理と監査を制度化し、同年より「環境報告書(レポート)」を発行。1999年7月にはISO14001を認証取得し、環境マネジメントシステムの環境側面の取組みを中心に報告してきました。

2008年度は設立15周年にあたり、環境活動に限らずコープしがのCSR(社会的責任)活動報告書として改訂することとなりました。この「社会的責任報告書CSRレポート2007」は、協同組合の基本理念に則りコープしがが社会的責任経営として取組む事業及び社会活動を、「組合員」「自治体」「地域社会」「お取引先」「職員」など幅広い対象者にご理解を頂くことを心掛けました。また滋賀の生協運動を築いてきたコープしが前身4生協の主な取組み等を一部紹介しながら、各活動分野の社会的役割を報告します。

本報告書を通じて、当組合のCSRへの取組みをご理解頂き、貴重なご意見・ご感想をお聞かせいただきたいと思います。

2008年6月

### ● 1996年

- 1月… 「青果産直センター」開設
- 12月… 「長浜センター」開設(虎姫・長浜センターの統合)

### ● 1997年

- 4月… 「甲南センター」移転
- 7月… (株)Kネットリソース、(株)コープ店舗開発の設立出資

### ● 1998年

- 6月… 「装い事業」スタート
- 7月… 共済事業の元請資格取得
- 10月… 「シルヴィコープ彦根」改装

### ● 1999年

- 4月… 県内全域個配事業スタート
- 7月… ISO14001認証取得
- 9月… 「コープぜぜ店」改装

### ● 2000年

- 4月… 「高島センター」増築
- 9月… 「シルヴィコープ彦根」閉店
- 「環境マネジメントセンター」開設(リサイクル施設)
- 10月… 「こだわり旨い便い～ねっと事業」スタート

### ● 2001年

- 4月… コープしがホームページ「ぱくぱくファミリー」開設
- 8月… 全国農業協同組合連合会滋賀県本部と「滋賀県の農産物の発展協力に関する協定」締結
- 9月… ステーション購入スタート
- 11月… 「中央大津センター」開設  
(南大津センター事業エリアの分割)

### ● 2002年

- 10月… 「彦根センター」開設  
(愛知川センター事業エリアの分割)
- インターネット注文事業スタート
- 11月… 産直牛のトレーサビリティ開始(店舗)

### ● 2003年

- 2月… 「福祉情報電話」開設
- 9月… 「生活協同組合コープきんき事業連合」設立加盟  
コープしが発足10周年記念式典

### ● 2004年

- 1月… 共同購入新システム稼働

### ● 2005年

- 2月… 北大津エリアで  
「ささえあいサポート事業」スタート
- 10月… 「南草津センター」開設(南大津センターと  
草津センター事業エリアの統合)
- コンプライアンス宣言

### ● 2006年

- 10月… 「北大津センター」移転
- 福祉ネットワークセンター「ゆめふうせん」開設  
(北大津センター内)
- コープきんきとの共同企画スタート

### ● 2007年

- 9月… 「ミニコープ富士見台店」「ミニコープ日吉台店」閉店
- 10月… 共同購入・個配の利用ポイント制がスタート
- コープしがホームページ  
「商品原材料情報検索システム」がスタート

### ● 2008年

- 2月… 個人配達手数料「ぬくもり割引制度」がスタート

---

## ごあいさつ

### 生協の役割と社会的責任経営(CSR)、コープしがの役割

日頃よりコープしがの事業・運営にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

コープしがは、1993年3月に4つの地域生協が合併し誕生し、2008年度15年目という節目の年となります。これまで組合員の利用と活動に支えられて、8万5千人だった組合員数も13万2千人に到達することができました。改めまして、みなさま方に心より感謝申し上げます。

2007年は、地球温暖化と食品偽装に始まり、中国産冷凍食品の中毒事故に代表される食の安全が問われた1年でした。

地球温暖化は、海面上昇や砂漠化の進行による領土問題と食糧問題に直結し、大規模な人の移動や資源争奪戦を引き起こし、将来、地域紛争や戦争の危険性を増加させる可能性があります。このことは、2007年度のノーベル平和賞が、映画『不都合な真実』などで地球温暖化問題に警鐘をならし続けた、アメリカの前副大統領ゴア氏、と気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が受賞されたことも大きなニュースになりました。

わたしたち滋賀県の琵琶湖も温暖化の影響を受け、水の循環が弱まり、湖底の酸素濃度が急激に低下しています。このまま酸素供給がストップすると、死の湖になりかねません。いまいちど環境問題にスポットを当て、一人ひとりが気づき取り組める活動を提起すると共に、事業者として環境マネジメントの取り組みを今まで以上に発展させてまいります。

食の安全について、事業者・消費者団体の両面でコープしがとして最重点で取り組んでまいります。具体的には、コープきんきと連携して、供給する商品の品質保証をより強化すること。滋賀県で食の安全・安心に関わる条例を制定できるよう、他団体と共に取り組みをすすめ、生産者と消費者の相互理解と協力のもとに、食の安全・安心の社会システムを構築することです。

最後に、わたしたちにとって一番大きなニュースが、59年ぶりの生協法の改正です。

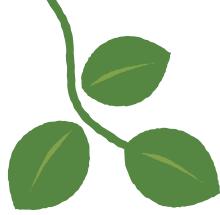
生協の今日的到達点と、社会的要請を踏まえ、食の安全、環境、災害時の支援、福祉など、あらためて生協の事業そのものが社会的役割をもっており、社会的存在として役割の発揮が求められています。併せて、ガバナンスの再構築が求められています。

コープしがは、全国の生協に先駆けて1999年7月に、全事業所でのISO14001の環境マネジメントシステムの認証を受け、以降、環境報告書として、まとめてきました。社会的役割発揮が期待される中、今年度よりCSR報告書に改め、15周年記念として、これまでの経過も含めまとめさせていただきました。

これからも商品やサービスの提供を通じて、くらしの願いを実現する取り組みをみなさんの協力を得てすすめてまいります。ご支援・ご協力よろしくお願ひ申し上げます。



生活協同組合コープしが  
理事長 西山 実



# copeしがは人と人との 自発的な結びつきによる、 組合員の生活向上をめざしています。

## 1 協同組合の原則と基本的価値

生活協同組合(生協)は、組合員が生協をつくり、組合員が経営し、組合員が利用する三位一体の協同の組織です。生協法は、「国民の自発的な組織(第1条)」として、「人と人との結合により、組合員の生活の文化的・経済的改善向上を図ることを目的(第2条)」としています。

## 2 滋賀の生協運動とcopeしがが果たす役割

### ▶ 滋賀の生協運動

1970年代、滋賀でもびわ湖汚染問題、食品の安全性問題など多くの地域で消費者運動が生まれました。そして地域の婦人グループなどが中心となって、滋賀の生協運動が始まりました。その後、組合員と専従職員で共同購入を始め、商品では有害添加物や農薬を排除したcope商品や産直商品を開発、環境では石けん利用と廃食油回収運動、合成洗剤追放運動を行ない、環境生協が設立されました。福祉では「くらしたすけあいの会」の活動や、NPO法人「しみんふくし滋賀」の設立運動がされていました。また戦争のない平和を願う運動など、多くの生協運動や消費者運動を築いてきました。

### ▶ copeしがの果たす役割(合併趣意書)

21世紀に向けてさらに生協の役割を果たすため、1993年3月21日、県内四生協が合併し、「それぞれが培ってきた活動や経験を発展的に継承し、滋賀県民の豊かなくらしと人間尊重の平和な街づくりをすすめる」ことを目指して、「生活協同組合copeしが」が発足しました。

## 3 copeしがのめざすもの

### ▶ 使命(ミッション)

2003年、新たな10年を展望して「copeしがのめざすもの《使命》」を策定しました。この使命は、事業体を通じて「安心とぬくもり」を提供し、「人」「社会」「自然」を大切にする社会的責任経営(CSR)の姿勢を明確にしています。

### ▶ 生協の社会的責任経営(CSR)

協同組合のCSRは、「Co-operative(協同組合)の社会的責任」を意味し、生協は、社会的に有益な商品やサービスの提供を通じて、組合員や地域のくらしを豊かにすることに責任があり、組合員の願いやニーズを通して、社会の願いを実現する自発的な組織です。すなわち、生協は存在価値自体に社会的役割があるといえます。

### • 協同組合のモノサシは…

#### 定義

協同組合は、協同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自発的な組織である。

#### 基本的 価値

自助、自己責任、民主主義、平等、公正、連帯の価値を基礎に、正直、公開、社会的責任、他人への配慮という倫理的価値を大切にします。

#### 原則

1. 自発的で開かれた組合員制
2. 組合員による民主的管理
3. 組合員の経済的参加
4. 自治と自立
5. 教育、訓練及び公報
6. 協同組合間協同
7. コミュニティへの関心

1995年ICA(世界協同組合同盟)世界大会

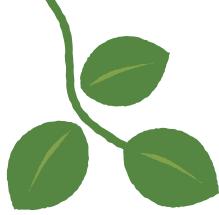
### • 役割のモノサシは…

copeしがは、「民主主義を充実させ、組合員一人ひとりが自立し、より多くの県民の参加による「協同の力」で、滋賀県の「消費の組織」として組合員のくらしと県民のくらしの総合的な向上を目指します。また琵琶湖を擁する滋賀において地域との調和を図りながら地域社会に寄与します。(合併趣意書より)

### • 使命のモノサシは…

copeしがは、正直に「くらしの安心とぬくもり」を提供します。そして、人のつながりと琵琶湖を大切にする心を育みます。

- ① copeしがによせる組合員の最大の願いである「安心」と「ぬくもり」を、事業の姿勢として、商品で、情報で、まごころで、いつまでも正直にお届けします。
- ② 協同組合の原点といえる、協同・たすけあいという「人のつながり」を大切にします。
- ③ わたしたち地域の象徴である琵琶湖の「自然環境」を大切にし、よりよい状態で次世代に引き継いでいきます。
- ④ 「自然を、地域を大切にする心を育む」ことで、豊かなくらしの実現をめざします。



# 総代組合員の集まりである 総代会の意思決定により 運営しています。

## 1 総代

総代は組合員の代表として、組合員の意志を踏まえ、総代会に出席し、活動方針や予算等の議案を審議し、議決します。

## 2 コーポレートガバナンスの状況

2008年4月より施行された改正消費生活協同組合法(生協法)にもとづき、総代会、理事会、監事會の権限や責任を明確にし、定款、規約、規程等を改定しました。これにより、総代会での組合員の意志決定による運営と同時に、急速な社会状況の変化に迅速に対応できる理事会体制の確立、さらに生協の運営がより開かれ社会的責任に応えられる組織として情報開示制度の充実や監事の権限強化等のチェック機能を強化しました。

1 理事会は、常勤理事、非常勤組合員理事、有識理事で構成し、定款、理事会規程にもとづき代表理事を選任します。理事会は、代表理事や各理事の業務執行を監督し、経営上の重要な意志決定を行います。理事の任期は2年とし、総代会で選挙し選出します。

2 理事長、副理事長、専務理事、常務理事で構成する常勤理事会を設置しています。迅速且つ機動的な業務執行と常勤理事の責任の明確化を図るため、常勤理事会規程、各常勤理事の管掌部門と決裁基準を設けています。

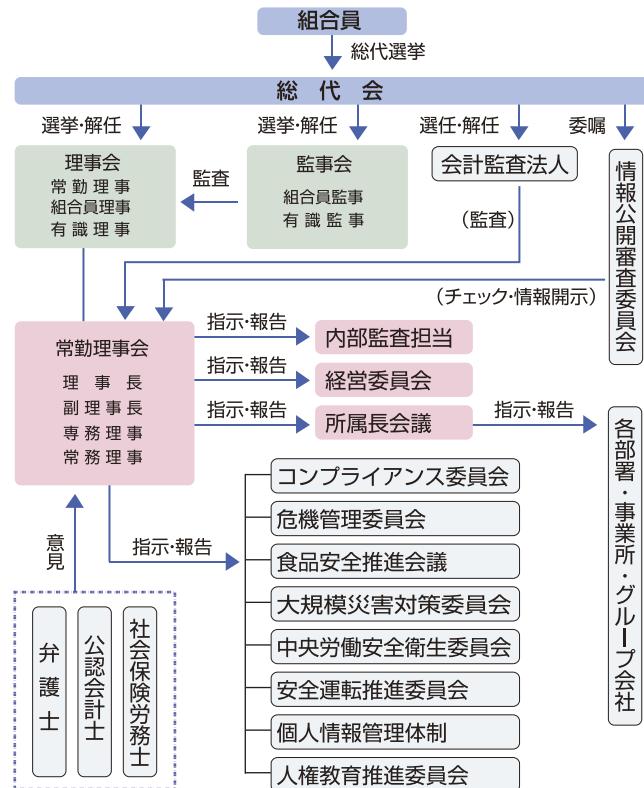
3 理事会の業務執行の実効性を高めるため、常勤理事と各部室の責任者で構成する経営委員会、全部署・事業所と子会社の責任者で構成する所属長会議を設置しています。

4 専務理事のもとに内部監査担当を配置し業務監査を行っています。内部監査担当は、法令や定款、規定等に照らして問題等があれば速やかに専務理事に報告し対策等を実施しています。

5 監事は、有識監事を含む監事會を構成し、理事会から独立する機関であることを監事監査規約で定め各理事の業務執行を監査しています。理事会や代表理事に対して意見を述べ、理事会等の重要な会議への出席を求めることができ、内部監査担当や公認会計士と必要な意見交換を行います。監事の任期は2年とし、総代会で選挙で選出します。

6 会計監査人は、総代会で選任し、公認会計士監査規約にもとづき会計監査を行い、総代会へ監査報告書を提出します。

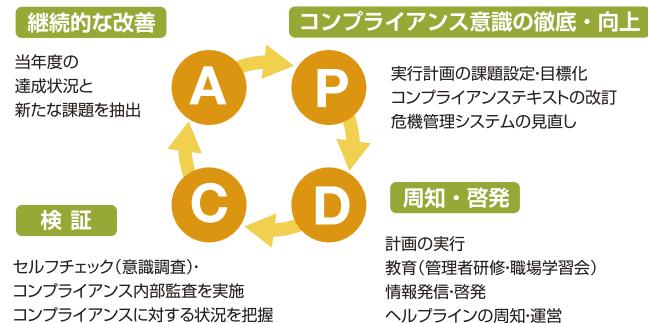
## コーポレートガバナンス体制



## 3 コンプライアンス経営の推進

地域や組合員から信頼されるコーポレートとして、より高い倫理観を以て事業活動を行うために2005年10月「コンプライアンス宣言」を公表し、コンプライアンス経営の取組みを開始しました。「コンプライアンス(倫理・法令遵守)基本方針」「自主行動基準」の策定やコンプライアンス経営体制を整備し、「コンプライアンス意識の向上」や「日常業務のチェック体制」などマネジメントシステムの構築を図っています。

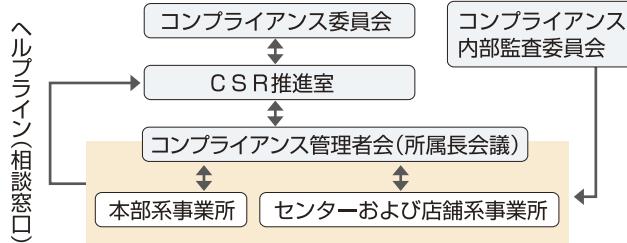
### コンプライアンス マネジメントシステムの構造



# コンプライアンス マネジメントシステムの 向上を図っています。

## 1 コンプライアンス経営体制

コンプライアンス委員会は、理事長を委員長とし、常勤理事で構成し、監事會や内部監査担当が参加しています。委員会では、コンプライアンス方針の決定、マネジメントシステムの進捗状況、重要なコンプライアンス課題の検討審議を行います。コンプライアンス管理者会は、各部署・事業所の責任者で構成し、部署別コンプライアンス実行計画の策定、教育・啓発、情報伝達、問題対処を担っています。コンプライアンス内部監査委員会は、理事長に任命された内部監査委員により、各部署のコンプライアンス実行計画の進捗および到達状況について、期中および年度末に監査を実施し、理事長へ監査報告書を提出します。



## 2 コンプライアンスの浸透・定着

### ■ コンプライアンステキストなどによる自主行動チェック

コンプライアンス宣言や自主行動基準などをまとめたコンプライアンステキストと、コーポレート職員像やコンプライアンスチェックをまとめた携帯用のコンプライアンスカードを全職員に配布し、自主行動を日常的に確認できるようにしています。

### ■ 職員研修と情報の共有化

職員研修は、職員採用時の研修や各部署の所属長によるコンプライアンス教育を実施しています。コンプライアンス管理者には、年に2回外部講師によるコンプライアンス研修を実施し、管理者としての役割と責任を学びます。また、毎月発行される部内報に「こんにちはCSR推進室です」と題して、コンプライアンス意識の向上に向けた記事を掲載しています。

## 3 コンプライアンス意識のモニタリング

年1回期末内部監査時に、アルバイトまで含めた全職員を対象に一人ひとりのコンプライアンス意識をセルフチェックで調査・把握し、その結果を公表して共有化するとともに、次年度のコンプライアンス実行計画を立てる際の参考とし、さらなる取り組みにつなげています。

## 4 ヘルplineによる相談受付

2005年より法令・倫理に反する行為の防止や早期発見、ハラスメント行為などに迅速に対応するためにヘルpline(倫理法令遵守相談窓口)を設置し、当組合の職員なら誰でも通報又は相談する

ことができます。内容は、重大な法令違反と判断される通報ではなく、ほとんどが職場内での人間関係の悩みについての相談でした。(相談件数:2005年度5件/2006年度8件/2007年度8件)

## 5 個人情報保護体制の整備

個人情報保護法や個人情報保護方針にもとづき、様々な事業活動に必要な個人情報を管理するため、「個人情報の保護に関する規約」や「個人情報保護規程」などを定め、個人情報保護責任者の理事を任命し体制を整備しています。

## 6 リスク管理システムの構築状況

### ■ 情報セキュリティ管理

コンピューターなどは情報機器管理細則を定め、パスワード管理や外部記録媒体などの管理、データ持ち出し制限ソフトの導入など、情報セキュリティ管理を強化をしています。また文書管理規程や文書取扱規程を定め、電子文書情報の適切な保存等を行っています。

### ■ 危機管理体制の整備

理事長を委員長とする危機管理体制を設置して、平常時、緊急時や事後対応の管理を行っています。緊急重大事故発生時は、専務理事を本部長とする緊急対策本部、各業務部門で対処する場合は担当専務理事を本部長とする緊急対策会議により、危機事象に応じた12の危機対応手順に基づき速やかに対処しています。

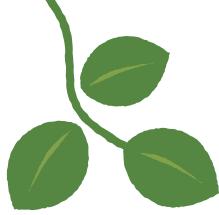
### 12の危機対応手順

- |                         |                           |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. クレーム発生時の危機対応手順       | 8. 役職員の犯罪(組織内)に関する危機対応手順  |
| 2. 商品の偽装発生時の危機対応手順      | 9. 役職員の犯罪(組織外)に関する危機対応手順  |
| 3. 交通事故発生時の危機対応手順       | 10. 火災発生時の危機対応手順          |
| 4. 情報漏洩に関する危機対応手順       | 11. 天災(台風・集中豪雨)発生時の危機対応手順 |
| 5. システム停止時の危機対応手順       | 12. 天災(大規模等の地震)発生時の危機対応手順 |
| 6. 組合員活動の危機対応手順         |                           |
| 7. ささえあい活動の事故発生時の危機対応手順 |                           |

## ・ 役職員行動のモノサシは…

### 自主行動基準

- 組合員の願いに応える商品・サービスを実現します。
- 組合員の声を聴き、誠実に対応します。
- 正確・適切・正直な商品情報の提供に努めます。
- 商品事故や法令・基準違反を防ぎ、発生した場合も万全の対応をします。
- 組合員個人の情報は「お預かりしたもの」として大切に扱い、他には漏らしません。
- すべての組合員に分け隔てなく公平に対応します。



# 安全・安心な商品づくり、 くらしに役立つ商品づくりのために、 独自の商品政策を定めています。

コーピしがは、「安全・安心」を基本原則として、「組合員のくらしに役立つ商品」を提供するため、コーピしが独自の商品政策を定めて商品づくりをすすめています。また、「食品の安全を求める運動」の取組みでは、食品の安全確保と消費者の権利の確立を追求しています。

品質管理において、生産・製造現場の立入点検や商品検査、流通過程の品温管理、衛生点検などを実施し、科学的な検証と品質保証された安全な商品を供給しています。

## 1 「食品の安全を求める運動政策」の取組み

### ■ 食品の安全を求める運動政策について

#### 私たちちは安全の先駆者 —過去も・今も・これからも—

私たちちは、活動の原点ともいえる「食品の安全」と「法令遵守」を、商品開発・仕入れから消費されるまでの全ての段階において継続的に追求します。また、様々な活動を通じて、食品の安全確保を消費者の権利として確立し、安全確保のための国内の法体系や体制の整備、国際的な安全基準の確立を追求していきます。

##### 策定の目的

- ① 組合員の食品の安全確保という願いの実現
- ② 組合員の不安の解消(情報の整理と問題の明確化)
- ③ 食品の安全を確保するためのリーダーシップの発揮
- ④ 組合員・市民の生協事業・運動への信頼回復と結集強化
- ⑤ 組合員の声を大切にする組織風土の確立と学習の推進

### ■ 社会的な仕組みづくりへの取り組み

コーピしが発足の1993年に「基本商品政策」、そして、1999年には「食品の安全を求める運動政策」を策定、2004年には情勢の変化に伴い改訂しながらコーピしがの取り組みを明確にしてきました。

その中で、1999年度から全国の生協とともに食品衛生法の改正運動を展開しました。請願署名は、しがで23万6千筆、全国では1,327万筆と大きな世論となりました。

その後、「食品安全基本法」が制定され、各省庁の横断的な連携を図るための食品安全委員会が設置されるなど都道府県行政を含めた社会的仕組みにつながりました。

滋賀県ではこの法のもとに「食の安全対策委員会」を設置、2003年には「食の安全・安心アクションプラン」が整備されました。2008年度は活動計画の最終年度となります。コーピしがでは、このプランの中の「食品事業者による自主衛生管理の促進」について滋賀県自主衛生管理認証制度(S-HACCP)の説明会を行うなどの相互協力も実施しました。

2008年度コーピしがでは、滋賀県に食の安全・安心にかかる条例の制定に向け滋賀県生協連を中心に諸団体とともに取り組みを進めています。行政の施策に消費者の声を反映させていくことが重要です。

### ■ 2007年の重大な出来事と教訓からの点検強化について

2007年6月にはCO・OP牛肉コロッケの「牛肉原料偽装問題」、安全性や偽装と信頼を裏切る問題が相次ぎました。その中で「天津食品(中国)製造のCO・OP手作り餃子等」で農薬中毒という重大な事態を発生させました。緊急に日本生協連・各事業連合等では、残留農薬検査を中国表示(製造・加工)を対象に実施しました。また、同時期に製造委託先の60工場全てを緊急工場点検にはいりました。

今、多くの消費者が「食」に対して不安をかかえています。「確かな品質の保証」に向けて一層努めていくための課題に向けて邁進してまいります。

生協の検査機能は全国各地に30ヶ所あります。職員は300人以上おり、年間30万件以上の検査を行っています。担当者同士がネットワークを築き交流しながら取り組んでいます。



## 2 安全・安心な商品

copeしがでは、「基本商品政策」を定め「安全の基準」と「安心の基準」にもとづき、生産実態が明らかなもので、科学的検証の得られるものを原則に商品を取り扱っています。

## 3 産直の取り組み

「産直」の取組みは、畜産物や農産物を中心に県内産直と国内産直に取り組んでいます。農産物は、「産直農産物基準」を定めています。

- ①契約条件の確認
- ②栽培計画の確認
- ③栽培の点検と記録
- ④基準外が出た場合の対応基準
- ⑤農薬の使用基準

などを明らかにして取り扱っています。



トマトは1株から約6kgが収穫され、1株相当のトマトを登録された組合員へ11週間連続で一番熟したおいしいトマトをお届けしています。

滋賀県大中の湖干拓地域で生産者5名が肥料設計や定植時期を統一し、品質面のバラツキを最小限にしています。



県内の特定産地とお米の数量契約を結び、一般栽培よりも農薬と化学肥料の使用を5割以下に減らして栽培したお米です。平成17年産米からは滋賀県の「環境こだわり米基準」に準じたお米となりました。

産地との交流として、春には組合員による田植え、秋には稲刈りを毎年実施しています。

## ・ 商品づくりのモノサシは…

### 【基本政策】の4原則

#### ① 安全・安心

組合員のくらしと健康を守るため、安全・安心な商品の取り組みの強化。

#### ② 環境

世界的規模で環境破壊がすすんでいる現状を踏まえ、環境にやさしい商品や包材の取り扱いの強化。

#### ③ 産直

日本の農業を守り、食糧自給を高める立場から産直を強化発展させるため、県内生産者・業者との提携、共存や農協・漁協など協同組合間協同の強化。

#### ④ 供給形態

使用品の供給は単品結集を基本とする共同購入と、より多くの消費者が利用しやすい品揃えをした店舗供給での商品提供。

### 【産直】の考え方

#### ① 県内産直と全国産直の2通りでおすすめです。

#### ② 県内産直を強めます。

地場生産物を地場で消費する運動を構築し、生産者と消費者の自立と共同による運動を展開します。

#### ③ 協同組合間提携を強めます。

農協、漁協をはじめとする協同組合間の協同を強め、協同のある街づくりをすすめます。



北海道にあるJAグリーン近江の直営牧場で生後6ヶ月まで育ち、滋賀県JAグリーン近江(大中)、JA甲賀(信楽)の牧場で13ヶ月飼育されます。飼料や飼育内容は書面確認と、実地確認をしています。

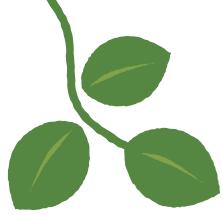


生協のさくらたまごは50g会(滋賀県の4名、三重県2名からなる生産グループ)からお届けしています。

エサの大部を占めているトウモロコシには特にこだわりました。遺伝子組み換えでなく、収穫後害虫から守るために農薬も使用していないトウモロコシです。

たまごパックは環境にも配慮し、組合員から使用後回収しリサイクルしています。





# 残留農薬、産地、工場の点検や 「商品仕様書」による食品添加物の 点検を徹底し、品質を管理しています。

## 1 商品検査

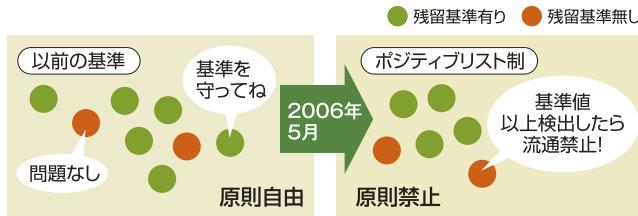
	2007年度 しが企画	2007年度 きんき企画	2006年度 日生協商品
残留農薬	① 120	② 134	1,148
微生物	1,707	5,343	1,869
動物用医薬品	23	—	246
食品添加物	—	371	1,443
畜種判別	—	22	—
その他	30	—	③ 6,079

農薬検査は大阪いずみ市民生協に委託しています。

①は農産物、②は加工食品、③は栄養成分・アレルゲン・環境汚染物質などです。

## 残留農薬の「ポジティブリスト制」の導入

私たちが進めてきた「食の安全確保を求める運動」が食品衛生法の改正につながり、2006年5月からポジティブリスト制が施行され、全ての農薬に残留基準が設けられました。



## 2 農産カードの点検と産地訪問点検

産地直結仕入れの農産物は、提出された「農産カード」の肥培管理内容から、コーポしがの産直農産物基準により「安心野菜」「安心果物」等のランク付けを行っています。2007年度は年間延べ62産地を訪問し、243件のうち193件に「安心」の冠がつきました。



## 3 鶏卵養鶏場の点検

鳥インフルエンザへの対策など課題の多い鶏卵養鶏場の衛生点検は年2回実施し、不具合があれば改善要請を行っています。訪問先は20件です。協議会でも品質面の意見交換がされています。

## 4 工場点検

県内のメーカーを中心に延べ26社を点検。きんきでは優先順位のもと102件を点検しました。(単協との合同や分担も含む)。点検項目等は、日生協のISO9001に基づく手順で行っています。

## 5 食品添加物基準の改定と運用

- コープきんきでは2007年7月に、日本生協連の食品添加物基準に準拠して自主基準を改定。コーポきんきと7つの生協は統一基準で運用管理します。これを受け、コーポしがでは2007年12月に食品添加物自主基準の一部を改定しました。
- 管理添加物「不使用品目」23品目を含む商品は取り扱いません。管理添加物「留意使用品目」37品目、「保留添加物」55品目を含む商品は、その使用目的と用途を明確にした上で、代替するものがなく「有用性・必要性」がある場合に限り、取り扱います。可能な限り食品添加物を使用しません。
- 商品を扱う場合、まず使用している原料や食品添加物を「商品仕様書」で点検し、次いで商品検査によって使用実態を確認します。

## 品質管理のモノサシは…

### ■ 基本商品政策

- 商品取扱い原則
- 分野別(農産物、水産物、畜産物、食品等)考え方
- 商品開発・価格設定・取引先等の基準、等

### ■ 産直農産物基準

- 産直農産物基準
- 産直農産物取引実務・検証基準
- 産直産地の登録と交流、等

### ■ 栽培管理農産物の認証基準

- 農産物栽培基準  
(有機農産物、特別栽培農産物、独自認証野菜・果物等)
- 栽培の検証基準、等

### ■ 養殖水産物の取扱基準・畜産物の取扱基準

- 薬剤の使用基準と使用状況
- 流通経路の確認
- 法令の遵守事項と管理

### ■ 食品添加物の自主運用基準

- 科学的知見で「安全性・有用性・必要性」を評価し、不使用・留意使用・保留の添加物を管理
- 使用基準により使用

# 「知りたい、役に立つ」 確かな商品情報を様々なルートで 提供しています。

商品案内書などの印刷物や  
インターネットで、商品の詳しい  
適正な情報を伝えています。

## 1 商品案内書「エコー」での情報提供

組合員に、より利用しやすい情報提供を行い、商品特徴や賞味期限、量目、産地や保存方法、アレルゲン表示、調理方法などを掲載しています。



## 2 ホームページでの商品情報検索



紙面に掲載しきれない原材料、添加物や5大アレルゲン以外の成分などの詳細な情報は、ホームページの商品情報検索で見ることができます。またホームページでは、牛肉のトレーサビリティ情報もご覧いただけます。コープ商品を使った料理レシピも掲載しています。

## 3 商品の表示



客観性と科学的な裏づけにもとづく正確な情報提供を行い、商品事故等が発生した場合は、商品コード等で直ちに生産製造を特定し、速やかに情報開示しています。

### ・ 情報開示のモノサシは…

#### 商品案内書

##### ■ 原産地表示

農産品・水産品・畜産品などの生鮮品はもちろんのこと、加工品についても主原料の原産地表示ができるだけ行い、最終加工地の表示を行っています。

##### ■ アレルギー表示

表示義務のある「卵・乳・小麦・そば・落花生」の5品目について表示を行っています。

#### ■ 賞味期限表示

消費期限表示を行う期間の短い商品は、商品のお届け日からお食べいただける期限を、賞味期間表示を行う比較的期間の長い商品は、製造日からの期間を表示しています。

##### ■ 管理温度表示

「冷蔵」や「冷凍」でお届けする商品は、案内書に表示を行っています。

##### ■ 遺伝子組み換え表示

豆腐・納豆・油揚げ類、こうや豆腐、調味料のしょう油・みそ、マーガリン、冷凍野菜や素材缶などには遺伝子組み換え情報の表示を行っています。

##### ■ カロリー・塩分表示

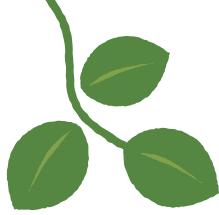
菓子類や加工品を中心に、包材表示に基づき表示を行っています。

##### ■ Gマーク表示

アミノ酸系の化学調味料を使用した商品にはGマーク表示を行い、素材の味を大切にした商品を求める組合員さんへの情報提供を行っています。

##### ■ サイズ表示

大きさや量が分かりにくい商品には、商品や器のサイズ表示を行い、感覚的にも分かるように表示しています。また、案内書には「メジャー」の表示を行っています。



組合員の一人ひとりの声を  
きちんと受け止め、方針決定や  
事業改善につなげています。

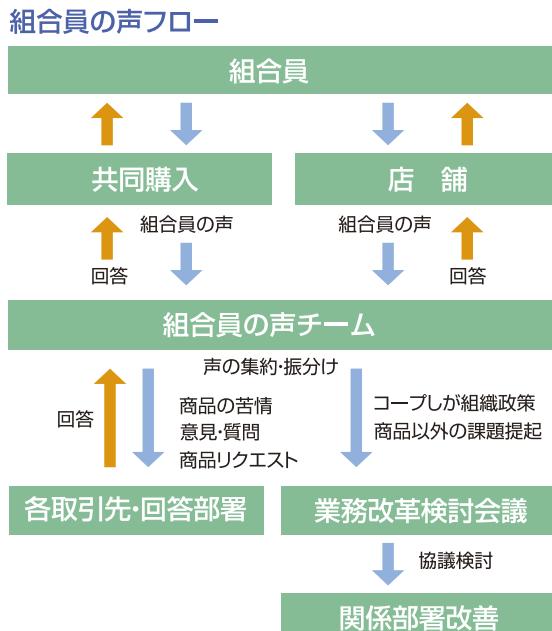
# 組合員の**声**を聴き 活かすコープ

## 組合員の意志の反映

生協は、組合員による組合員のための組織です。組合員からの声は、コープしがの事業を支える貴重な財産と言えます。2007年度は共同購入や個配の配達時に15,638件の「組合員の声」が提出され、内訳では「商品リクエスト」が約6割を占め、残りの約4割は、商品苦情やその他の意見で様々な改善への想いが込められています。そんな組合員の声や願いが、なぜ生協に向けて発信されたのかをコープしがの職員は確実に受け止め、組合員とともに考えながら事業改善につなげるさらなる仕組みづくりをすすめています。

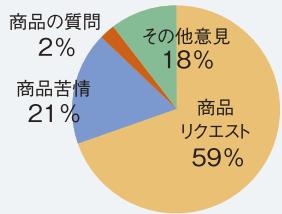
### 1 「組合員の声」の取組み

毎日組合員から届く組合員の声は、共同購入や店舗を通じて組合員の声チームで集約し、担当各部署での反映や業務改善検討委員会で改善を行っています。



### 組合員の声、商品苦情の内訳

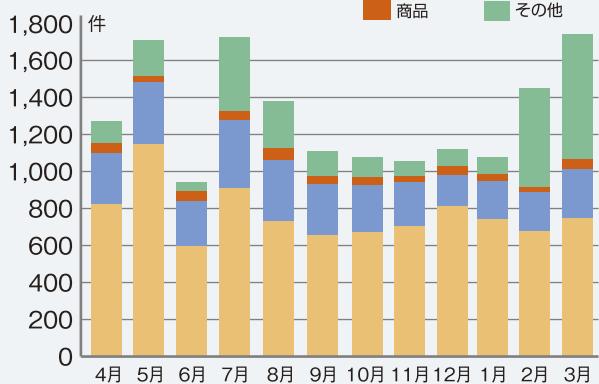
#### ① 組合員の声 (2007年4月～2008年3月) 合計15,638件



#### 内訳

合計受付件数は15,638件となりました。前年に比べて商品リクエストは3%減少しています。また商品苦情は4%減少しています。

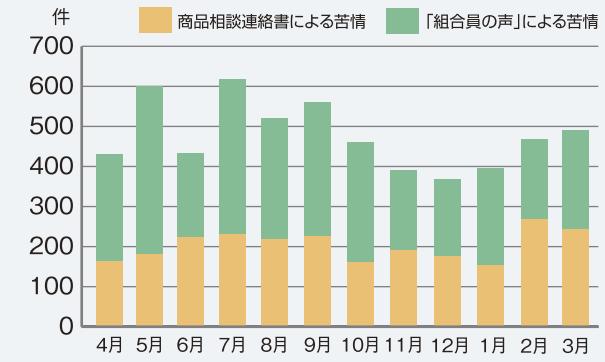
#### 2007年度 月度推移



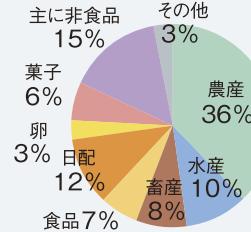
07年2月1回から「組合員の声」の欄が表紙になり、前年を大幅に上回る様々なご意見をいただきましたが、7月、8月、2月は「中国商品についてのご意見」が増加しました。

#### ② 商品苦情 (2007年4月～2008年3月) 合計5,785件

#### 受付件数 月度推移



「組合員の声」による商品相談件数と「商品相談連絡書」による相談件数比率は、08年1月度までは、概ね3対2で推移していましたが、2月度は「餃子事件による不安」から「商品相談連絡書」による申し出が増加しました。



#### 部門別 内訳

合計受付件数は5,785件となり、農産の苦情が全体の4割弱となっています。この傾向は前年とほぼ同じです。

## 2 おしゃべりタイム(ぱくぱくパーティ)

おしゃべりタイムは、コープしがで最大規模の組合員約30,000人が集う「参加の場」です。この「場」では、コープ商品を試食しながら、生協から聴きたいテーマを話し合ったり、組合員の日常のくらしで感じている「身近な話題」を話したりして「おしゃべりメモ」を生協へ提出する活動です。年5回実施し、様々な組合員の願いや意見が出されています。

提出された「おしゃべりメモ」は、理事会やエリア協議会、事務局で全て読み込んで方針や事業、活動に反映する仕組みを設けています。

コープしがの方針、事業、活動へ反映

組合員の身近なくらしの話題

### 「おしゃべりタイム」



**商品・安全性に対する意見**

コープきんきの安心  
安全な生協の商品は、  
安くおいしいから  
家族にも評判です。  
共働きなので、  
半調理商品はとても  
助かっています。

**おしゃべりタイムで  
出された声の事例**

TVや新聞などで  
中国製食品の安全性が  
たくさん言われている  
けど、とても不安だわ。生協は大丈夫ですか?

老後の介護には不安が  
いっぱい。年金も  
もらえるのか  
分からぬし、介護  
保険はどうなるか  
分からぬし。

**くらしの意見(税金・社会保障制度)**

家族の保険について  
話し合いました。医療  
費がたくさんいるし、  
国民健康保険だけでは  
とても不安です。税金も  
含めて社会保障制度は  
どうなっていくの。

**防犯、犯罪などくらしの意見**

子どもの学校の  
安全管理が  
問題になっている。  
登下校の防犯対策が  
気になります。

地域で空き巣などの  
犯罪があったことを  
時々耳にします。  
地域での不審者など  
防犯対策がすすんで  
いないので住民も  
不安でいます。

**環境などの意見**

市では、ゴミの分別  
回収が始まりましたが  
なかなか慣れません。  
ゴミの分別回収は  
地球温暖化問題の  
解決につながるの  
でしょうか?

ゴミ袋が有料化され  
たけど、市民には負担が  
増えるばかり。  
どうにかならないの  
でしょうか?

## 3 組合員コールセンターの開設

コープしがでは、組合員コールセンターを2008年度秋頃の開設にむけて準備をすすめています。従来、共同購入センター(配達事業所)で受付していました組合員の問い合わせや電話受注に、よりスムーズにお応えできるよう改善します。

3／3 2A16-130  
グループ 様

組合員の声記入欄 (提出日 月 日)

※商品のリクエスト・お問い合わせ (詳しく情報が手不足だと回答がむずかしい場合があります。)  
●商品名 (具体的な):  
●メーカー: 年 月 国  
●販売店 (具体的な):  
●ご購入した店舗名 (複数ある場合は複数記入):  
●ご購入店舗の電話番号 (複数ある場合は複数記入):  
●お問い合わせ内容 (複数ある場合は複数記入):

具体的な回答が必要な方は○で囲んでください。→ 必要

セントラルの対応内容記入欄 (具体的に記入して下さい)

お問い合わせ用紙

116404 117316

(提出日 12月 11日)

組合員の声記入欄

※商品のリクエスト・お問い合わせ (詳しく情報が手不足だと回答がむずかしい場合があります。)  
●商品名 (具体的な):  
●メーカー: 年 月 国  
●販売店 (具体的な):  
●ご購入した店舗名 (複数ある場合は複数記入):  
●ご購入店舗の電話番号 (複数ある場合は複数記入):  
●お問い合わせ内容 (複数ある場合は複数記入):

具体的な回答が必要な方は○で囲んでください。→ 必要

組合員の声記入欄 (提出日 12月 12日)

※商品のリクエスト・お問い合わせ (詳しく情報が手不足だと回答がむずかしい場合があります。)  
●商品名 (具体的な):  
●メーカー: 年 月 国  
●販売店 (具体的な):  
●ご購入した店舗名 (複数ある場合は複数記入):  
●ご購入店舗の電話番号 (複数ある場合は複数記入):  
●お問い合わせ内容 (複数ある場合は複数記入):

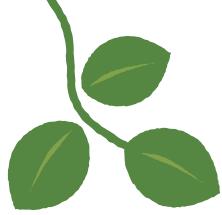
具体的な回答が必要な方は○で囲んでください。→ 必要

(提出日 12月 26日)

組合員の声記入欄

※商品のリクエスト・お問い合わせ (詳しく情報が手不足だと回答がむずかしい場合があります。)  
●商品名 (具体的な):  
●メーカー: 年 月 国  
●販売店 (具体的な):  
●ご購入した店舗名 (複数ある場合は複数記入):  
●ご購入店舗の電話番号 (複数ある場合は複数記入):  
●お問い合わせ内容 (複数ある場合は複数記入):

具体的な回答が必要な方は○で囲んでください。→ 必要



# 共同購入事業と店舗事業、 くらしの保障商品を提供する 共済事業に取り組んでいます。

copeしがは、安全・安心な商品を「共同購入事業と店舗事業」を通じて組合員へ供給しています。さらに家族みんなが安心して暮らすための保障を提供する共済事業に取り組んでいます。

## 共同購入事業

共同購入事業は、県内全域に配置している10箇所の共同購入センターから約11万人（世帯）の組合員宅へ毎週配達しています。（供給高は、232億円でcopeしが供給事業の91.8%）

- 共同購入と個人配達は、組合員から前週に注文を受けた商品を、毎週決まった曜日・時間、指定された場所に配達しています。共同購入はご近所などお友達3人以上集まれば利用でき、配達手数料は無料。個人配達は、週1回、組合員宅まで商品をお届けします。お留守の場合は商品にドライアイスや蓄冷剤を入れ封印してお届けします。配達手数料は280円（税込）。
- ステーション購入は、週1回生協が委託した地域のお店（地域ステーション）や、生協の施設（共同購入センターや生協店舗）に商品を受け取りに来て頂くシステムです。お仕事帰りなど組合員の時間都合で受け取ることができます。手数料は無料。

### ● 個人配達手数料の特典・割引

新しく生協に加入した組合員は、配達手数料が6週間無料。また、  
①子育て世代割引（3歳未満のお子様をお持ちのご家庭）、  
②高齢者の割引（満65歳以上の方）、  
③障がいのある方は、「ぬくもり割引」として配達手数料200円（税込）です。

### ● コープの家計応援とポイントサービス

お買得商品やお試し価格商品などの家計応援企画や生活雑貨を含めて全体約2,300品目（内食品約1,000品目（内エコー約850））を毎週配達しています。  
またポイント付商品や利用金額に応じてポイントがたまるサービスで組合員のくらしを応援します。

### ● インターネット注文

ホームページのインターネットをご利用頂くと、商品の情報やレシピを見ながら時間を気にせずに注文が出来ます。

## 店舗事業

店舗事業は、滋賀県内の大津・湖南（草津市、野洲市）地域に、生鮮品から日用雑貨まで品揃えしたスーパーマーケットタイプの「copeぜぜ」と、産直商品やcope商品を中心に品揃えした15~80坪の小さなお店「ミニcope」の5店があり、供給高は20億円でcopeしが供給事業の8.2%あります。



### ● コープの家計応援

#### 全品5%オフ

毎月第1・3土曜日は全品5%オフセールを実施しています。

#### 家計応援商品

くらしの必需品を1ヶ月間通して低価格で提供しています。

※copeのお店のセールチラシはcopeしがのホームページで案内しています。

### ● 店舗ポイントサービス

「ちょっとうれしい」お買い物プレゼントとしてポイントサービスを実施しています。

- お買い上げ金額（税込200円）毎に1ポイント付与します。
- 200ポイント貯まれば、copeしがポイント券を1枚お渡しします。
- copeしがポイント券3枚で、1,000円のお買い物券としてご利用いただけます。

※店舗ポイントカードはグリーンスタンプと提携していますので、グリーンスタンプ社のカタログ商品との交換も可能です。

## 組合員さんの声（11月の店舗利用組合員の集いから）

**copeぜぜ**

病院に来るときに利用している。改装してから明るく、以前より売り場がわかりやすくなった。

子供用のカートのかわいいのを置いてほしい。

滋賀の野菜コーナーが楽しめます。

**ミニcope**

バナナの1本売りがあるので助かっています。

野菜がいつも同じものしか置いていない。（葉物や匂い物、サラダ+スプラウトなどをあいてほしい）

レジが混んだ時はスムーズな対応を心がけて欲しい。

## 共済事業

「日頃から組合員どうしで少しづつ貯えあい、困ったときに助け合えるような仕組みができないだろうか?」そんな気持ちから生まれたのが《たすけあい共済》《生命共済あいぶらす》などのCO・OP共済です。

加入者が増え、組合員が声をあげることで、よりよい保障内容に改定する『組合員さんの保障商品』です。

### ★共済加入件数

	たすけあい	あいぶらす	合計
2006年度	62,365件	5,362件	67,727件
2007年度	66,622件	6,476件	73,098件

### ★《たすけあい》共済金支払状況

	支払件数	支払額 (単位:千円)		
		コープしが	日本生協連	合計
2006年	11,822件	143,351	260,103	403,454
2007年	12,793件	211,870	244,213	456,083

\*2006年9月1日よりこども(J)共済共同引受

## 2007年の主な改定内容

《たすけあい》の全てのコースで  
病気もケガも入院1日目から保障  
(新規募集停止のコース「ケガ通院」と「一般」コース除く)

## 共済金受給者のありがとうの声

この度はお世話になりました。  
お守り代わりにと加入していて本当に良かったです。  
申請してからの対応が速くてびっくりしました。  
入院治療費以外にも色々出費があつて驚きです。  
主婦が安心して自分の病気治療に専念するには、  
CO・OP共済で日頃から備えておくことを  
おすすめします。

## コープしがの経営状況

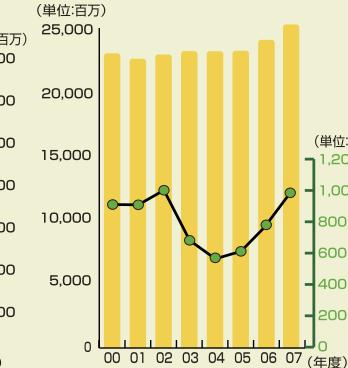
### コープしがの経営概況

■組合員数(単位:人)  
●出資金(単位:百万)



### 供給高と経常剰余金

■供給高(単位:百万)  
●経常剰余金(単位:百万)



### 1993年度と2007年度の比較

(単位:百万) ■固定資産 ■流動資産  
■自己資本 ■固定負債 ■流動負債



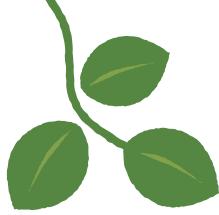
	経常剰余率	総資産回転率	流動比率	固定比率	自己資本比率
1993	0.7	3.0	66.2	174.1	38.6
2007	3.9	1.4	257.3	54.2	66.8

## コープしがの子会社

組合員の多様な暮らし全般のニーズに応えるため、法規制等により生協ではできないサービスや事業の展開をめざし、「コープしが子会社グループ経営指針」を策定してグループ経営全体の管理運営を行っています。コープしがは、出資額または保有株式額の範囲(有限責任)で責任を持つだけでなくグループ経営全体のコーポレートガバナンスに責任を持ち、常勤理事が子会社の代表取締役を兼務しています。

### 概要

	(株)タクス	(株)コープシステムサービス	(株)シガフードプロダクト	(株)滋賀有機ネットワーク
設立年月日	1995年9月	1995年11月	1993年4月	1994年12月
代表取締役	白石 一夫	千葉 正司	千葉 正司	濱田 和夫
資本金総額 (コープしが出資額)	15,000千円(10,000千円)	30,000千円(20,000千円)	95,000千円(48,000千円)	10,000千円(4,000千円)
発行済株式数 (コープしが持株数)	300株(200株)	600株(400株)	1,900株(960株)	200株(80株)
コープしが比率	66.7%	66.7%	50.5%	40.0%
2007年度売上高 経常剰余金	134,331千円 18,062千円	1,341,359千円 15,992千円	1,634,021千円 18,062千円	581,124千円 4,539千円
事業内容	損害保険代理店。 生命保険代理店。宅地建物取引業。	倉庫・保管の管理業。物流センター運営管理業。物流資材等販売業	牛肉・豚肉などの食品パック加工業。 加工済商品販売業。	穀類、野菜類及び果樹類の生産・加工・販売業。
	生協では扱えない保険商品を、 保険代理店として専門的に 組合員をサポート	物流に関する専門的なノウハウを 導入し、適切な物流管理とコープ しがの物流費用のコントロール	精肉の生産、流通及び加工までを 一元管理し、安全安心・良質な肉を 適切な価格での安定供給	県内での産直有機農産物の 产地づくりの推進と農産物の 流通拠点づくり



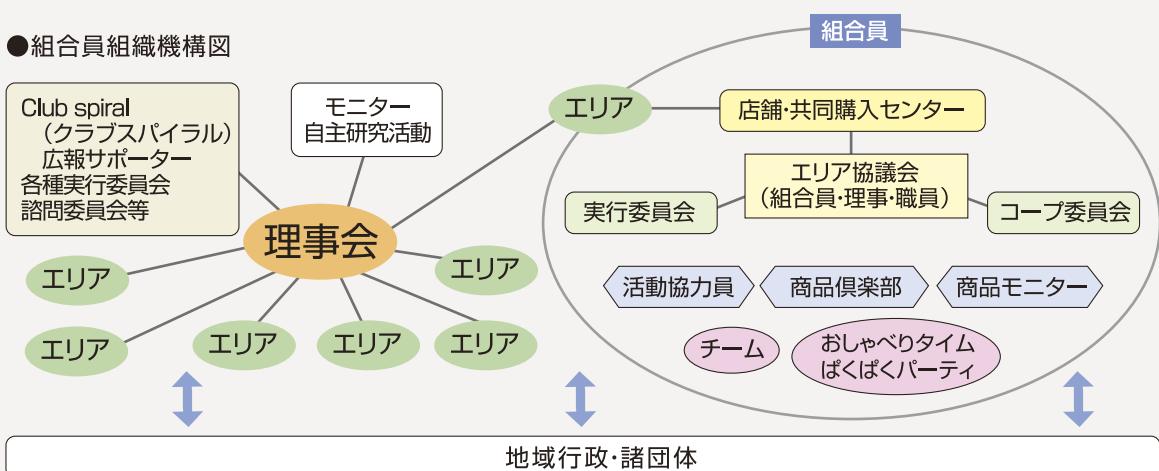
# 県内各地域で 組合員の自主自発活動が すすめられています。

## コーポの活動と地域コミュニティ

### みんなのいろんな願いが、 つながって、広がって

組合員のくらしの願いを実現するため、一人ひとりが想いを出し合い、地域の中でつながり協同し、考え方学び合う生協の様々な組合員活動が、地域コミュニティの中で広がっています。

#### ●組合員組織機構図



地域の組合員は、県内の生活地域を7つのエリアに区分して57のコープ委員会で活動しています。コープの商品学習会や産地見学など、学び知りそして知らせる交流の場づくりを行っているのがコープ委員会。また、組合員3人以上、組合員以外の方を含めて5人以上が集まる活動がチーム活動。現在、150チーム・約1,300人がテーマを設けて活動しています。また組合員の専門的な自主研究活動では、生協から助成金補助を行い研究成果を発表しています。

## 1 商品の取組み

食品の安全学習会やコープ商品の学習会、料理学習会、子育てと食育の学習会、生産者交流などに取り組み、年間約200企画、約20,000人が参加します。また600人の商品モニターによって、原料・製造方法・使い勝手などを調査し、商品普及や見直し改善に役立てています。産直活動では、生活基礎商品（米、卵、牛乳、精肉）を中心に取組み、生産者とともに田植えや稲刈りには10会場約600人が参加しました。



ワインナー作り

### 職員からのメッセージ



組織支援活動  
南地区事務局長  
太田久美子

のこと、子育てのこと、趣味のこと…くらしの中できちんり役立つ情報を交流しながら、地域に広げつながりをつくる。組合員さんも、組合員でない方も、これから組合員になる方も、「またやりたいね。参加したいね。」「やっぱ生協やね～」と思える活動が活発にできるよう、目一杯サポートします!

# 地域コミュニティの中で平和活動や 環境保全活動、各種学習会を 積極的に行ってています。

## 2 くらしの取組み

平和活動では、組合員から「平和を願う声(短冊)」を寄せ合い、8月に三井寺原爆法要とともにピースパレードを行いました。また日本国憲法の制定と平和の大切さを学ぶ映画「日本の青空」を上映しました。

生活に直接関わる消費者問題では、KC's消費者支援機構関西に参加し消費者被害防止の学習会の企画や、社会保険・医療・介護等を考える学習等をすすめています。またコープ支えあい事業の取組みとともに、福祉と食育・子育て支援活動として「たべる\*たいせつキッズクラブ」をすすめています。



ピースパレード



子供の料理教室

## 3 地域での環境活動

環境活動は、滋賀の大切な自然財産である「びわ湖」を守る活動として、2007年7月に開催された「第27回全国豊かな海づくり大会～びわ湖大会～」の一環として、滋賀県の「湖(うみ)づくりキャンペーン事業」に参画し、地球温暖化とびわ湖の現状を学び、湖魚等を使った伝統食づくりなどを企画しました。また取組み2年目の「わが家の電気ダイエット」には241家族(950人)が参加し電気使用量を減らす省エネに取組み、3091KWの電力(CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)換算1397kg)を削減しました。その他、牛乳パックを使った紙漉教室などで、紙と木材の使用から自然環境破壊を学ぶ学習会を開催しています。

湖づくりキャンペーン事業に  
参画した実行委員会

わが家の電気ダイエット

### • 平和活動のモノサシは…

#### copeしが平和政策

私たちは過去の歴史に学び、命の尊さを考え、お互いの人权を守り、自然と共生し、安心できるくらしづくりをすすめます。

- 戦争のない社会の実現を望みます。
- 誰もがお互いを認め合い、思いやりを大切にする心を持ちます。
- 基本人权を尊重し、犯罪のない地域の実現をめざします。
- 子どもたちの未来を守り、安心して暮らせる社会づくりをすすめます。

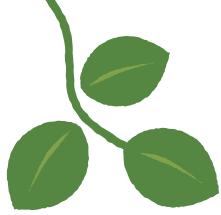
### • 環境活動のモノサシは…

#### copeしが環境保全活動の基本理念

copeしが組合員、役職員は、今日の環境問題を生協運動の根源的課題と捉え、環境保全型社会の実現をめざし、継続して活動を展開していきます。

#### 活動の基本方向

- ① 商品とサービスの供給において環境への配慮を徹底し、環境に配慮した消費行動を広げていきます。
- ② copeしがの事業活動に伴う、環境負荷を低減するために、環境管理と環境監査を継続して実施します。
- ③ 行政との協力関係を築き、行政のすすめる環境保全活動に積極的に参画します。
- ④ 組合員による環境保全活動を活発化し、グリーンコンシューマーの輪を広げていきます。
- ⑤ 環境保全活動を推進する組合員活動を強化し、職員の環境教育を強化していきます。
- ⑥ 環境保全活動に関する情報を、積極的に組合員・市民に知らせるとともに、生協の事業・活動についての情報を公開していきます。



# 「ささえあいサポート」事業で くらしの困りごとを 助け合っています。

地域でのささえあい

## みんなでささえあう街づくりへ

copeしがでは、2001年に「福祉政策」を策定し、「人と人をつなぎ、ささえあう」ことが生協の福祉であり社会的役割として「福祉ネットワークセンター」を開設しました。

福祉ネットワークセンターは、大津市真野にある北大津センターに併設されています。

一人で悩まず相談できる「福祉情報電話」、子育て世代から高齢者までみんなが利用できる憩いの場「ゆめふうせん」、そして全県で取り組んでいるくらしの困り事を組合員同士でサポート(たすけあう)する「ささえあいサポート」があります。

### 1 ささえあいサポートの取組み

ささえあいサポートは、「ちょっとの間、子どもをみてほしいんだけど」「独居になってしまふおばあちゃんにお昼ご飯を食べさせてあげてほしい」「年をとると高いところの掃除ができない」「病院のお薬を取りにいってほしい」「体が動かないし、庭の草が伸びてきたので剪定してほしい」などの時に、生協の組合員同士という「つながり」により助け合う有償ボランティア制度です。



#### サポート時間と利用料金

9時～17時 1,200円～(1時間)

早朝・夜間・土日祝日&  
介護・野外作業等

1,600円～(1時間)

その他センターの  
交通費実費が加算されます。

組合員のセンターへの応募や活動の問い合わせは  
「ささえあい事務局」へお願いします。

電話/0120-294-589 FAX/077-574-1570

Eメール/fukushi@coop-shiga.or.jp

### 2 福祉情報電話の取組み

福祉情報電話は「あなた一人で悩まないで」を想いに、「どうしたらいいかわからない」「とても困っているから、専門の機関を紹介してほしい」などの相談に応えています。今までcopeしがが培ってきた福祉ネットワークをもとに、行政や諸団体、NPO、専門機関などと連携して相談者をサポートする制度で、個人情報は保護しています。

お問い合わせ件数 2,656件

電話/077-571-1561 FAX/077-574-1570

Eメール/fukushi@coop-shiga.or.jp

### ・ 福祉活動のモノサシは…

#### copeしが福祉のめざすもの

1 おたがいさまでくらしをささえあう  
そんな心が通うcopeしがをつくりましょう。  
わたしたちの事業と活動すべてが、  
福祉そのものって言える生協になりたい。

2 自主自発の活動を大切にし、  
交流し共感しあう中で、  
地域と協同していきましょう。

ひとり一人の思いを結ぶ、まちづくり・くらしづくりの  
ネットワークをつくりたい。

3 生協だからこそ、といえる  
copeしが福祉事業をつくりましょう。  
人のつながりを生かした生協福祉事業を実現したい。

#### 職員からのメッセージ



ささえあい事務局  
清水孝恵

ささえあいサポートは組合員同士の  
「おたがいさまの気持ち」でつながった  
助け合いであります。私たちささえあい  
の事務局職員も、組合員さんの目線  
で依頼をお受けし、それを応援して  
いただくセンターさんにつなげて  
います。くらしの中のちょっとした困  
りごとはみなさんお持ちです。気持  
ちよくサポートできるよう細かなと  
ころまで配慮してコーディネートを心  
がけています。

### 3 「ゆめふうせん」ってどんなところ？

「ゆめふうせん」は、ただ単に生協の施設にとどまらず、地域住民や市民活動に携わる方々にもご利用いただき、さまざまな世代の人々が交流できる場所として運営されています。



#### 愛称「ゆめふうせん」の名前に込めた思い

風船に種をつけて大空にとばすと、どこかの誰かに届く。そしてその種がいつか花を咲かせます。そんなふうに夢や願いを運ぶ風船のように、みんなの夢がかなう場所になればいいなあ…。という組合員さんからの公募から選ばれました。

#### ふらっとプレイスは自然な異世代交流をめざす「屋根のついた公園」



子育て世代、高齢者…と対象を区別せず、たとえ一人でも、自由に『ふらっと』立ち寄れてくつろげる場所、また誰でも利用できるようにバリアフリーを完備した『フラット』なフリースペースということで、「ふらっとプレイス」と名付けました。

来館者6,924人

この施設は協力金で運営する、滋賀県初の施設。ささえあい協力金として100円を利用者からいただきます。施設美化や備品整備にあてます。

### 社会貢献活動

## 地域社会との共生

copeしがは、組合員数13万人の組織として、地域社会の一員として、社会で果たす役割と期待がますます大きくなっています。生協は、組合員や地域住民一人ひとりが願う、「安全で安心、平和な社会づくり」に積極的に参画し、実現に向けて協同の輪で支えていきます。

### 1 行政・地域諸団体との協同

copeしがは様々な分野の諸団体等に参加し社会的活動に取り組むとともに、毎年理事長と地域の理事・組合員等が自治体市長・町長を訪問し、生協の地域の取組みや行政からの期待や課題を頂く意見交換会を行っています。

#### 主な加盟団体等

##### KC's消費者支援機構関西

適格消費者団体。消費者被害の未然防止や拡大防止等の活動

##### 淡海フィナンスロピーネット

県内の企業や団体の社会貢献活動の連携

##### GPN滋賀グリーン購入ネットワーク

県内の企業や団体がグリーン購入の実践活動の促進

##### おおつ環境フォーラム

アジェンダ21大津、地球温暖化・びわ湖環境問題等の活動

##### 滋賀県中小企業家同友会

国民や地域とともに歩む中小企業を目指し経験と知識の交流

##### NPO法人しみんふくし滋賀

在宅介護、ホームヘルプ等の市民が協同する福祉活動

##### 市町の社会福祉協議会

行政や団体等が保健・医療等のある福祉のまちづくり活動

##### 市の企業人権啓発推進協議会

差別がない人権が尊重される職場づくりの推進

### 2 地域防災の取組み

大規模災害の発生に備え地域行政との間で『災害時生活物資の調達に関する協定』を結びました。

copeしがでは大規模災害発生時に被災者の生活支援と地域の復興を行うために、配送センターが所在する市町を中心に自治体との間で「災害時における生活物資の確保および調達に関する協定」を締結しています。

「災害時における生活物資の確保および調達に関する協定」を締結している自治体

大津市 平成17年1月13日

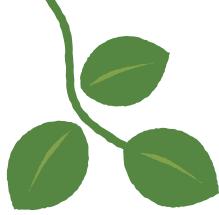
愛荘町(旧、愛知川町) 平成17年1月13日

高島市 平成17年6月22日

近江八幡市 平成18年2月14日

彦根市 平成19年1月17日





# 安全運転に取り組み、 さらに地域の子どもたちの安全を 見守っています。

## 1 交通安全の実践

copeしがでは2001年2月と、2004年9月に死亡事故を発生させてしまいました。すべての役職員が事故再発防止を誓い、安全運転推進委員会を設置して事故違反の撲滅を目指し、事故発生原因の究明やヒヤリハット事例の共有化、コメントリー運転の徹底、昼間点灯などに取り組んでいます。また約300台の配送車が配達しており、ドライバーへの添乗指導やドライブトレーナー機器を21台装置し運転動作の改善を行っています。

## 2 「子ども110番のくるま」による 地域の見守り活動

現在滋賀県各地域で、未就学児から小学生、中学生など下校時や塾帰り時に声をかけられる事件が多発しています。

子どもたちが  
巻き込まれる  
事件が多いなあ…

とても人ごとと  
思えない…

うちも小学生の  
子どもがいて  
心配なんです…

組合員のくらしや  
地域に役立つために  
生協が何かできない  
だろうか…

役職員のそんな思いから始めました。

copeしがでは2004年から、行政や警察、教育委員会や学校関係者、地域住民とともに子どもたちの安全を守るために、生協の全車両に「子ども110番」ステッカーを貼り、地域の見守り活動をすすめています。



ステッカーを貼った  
配送トラック

## 3 「飛び出し注意看板」の設置

地域の危険な場所に注意を促す「飛び出し注意看板」を組合員や自治会などに紹介し、県内全域で設置運動を進めています。2007年度末で約600枚が設置されました。



### ありがとうの声

子どもたちなどの歩行者や車の運転者にもよく見えて注意するようになりました。近所みんなでとても喜んでいます。

スポーツ広場の電柱につけ、  
村の中でも車の通行量が多いところに設置しました。  
皆さん気がついてくれると思います。ありがとうございました。

ちょうど看板が欲しいと思っていたときの募集で、看板をいただき感謝しております。この設置で事故が防げるよう祈っています。

一旦停止していい車が多かったけど、みんな止まるようになつた。安心して歩けます。

ちょうど看板が欲しいと思っていたときの募集で、看板をいただき感謝しております。この設置で事故が防げるよう祈っています。

## 募金やリサイクルにも取り組んでいます。

### 1 ユニセフ活動や災害等の募金・カンパ活動の取組み

copeしがは、平和の取組みとともにユニセフ活動の募金を長年に亘って取り組んでいます。世界の子どもたちの生命と人権を守る活動は、組合員が願う想いとして、一人ひとりが一般募金やハンド・イン・ハンド（街頭募金活動）などで参加し、日本ユニセフ協会を通じ送金しています。また日本国内や世界で地震・災害等が発生し大きな被害が出た時は緊急募金に取り組み、日本ユニセフ協会や日本赤十字社、自治体や生協県連を通じて被災地へ送金しています。



#### copeしが組合員による主な募金活動実績 (単位:円)

年度	ユニセフ募金	平和カンパ	地震・集中豪雨等被災者支援	
1993	2,530,764	4,053,774	11,221,815	● 北海道南西沖地震 ● 鹿児島集中豪雨
1994	1,179,015	3,709,961	20,610,000	● 阪神淡路大震災
1995	2,931,217	2,540,382	498,702	● 兵庫県・copeこうべ復興支援
1996	5,358,264	3,203,567	—	
1997	4,808,665	3,573,927	—	
1998	4,503,298	2,976,424	2,280,536	
1999	3,896,744	2,958,586	4,089,377	● トルコ大地震 ● 台湾大地震
2000	3,740,870	2,564,422	3,728,178	● 有珠山噴火災害 ● 三宅島及び東海豪雨 ● 鳥取県西部地震 ● エルサルバドル・インド地震
2001	3,578,438	2,593,516	—	
2002	3,080,262	2,268,871	—	
2003	3,690,728	1,884,135	—	
2004	1,091,462	—	12,764,875	● 新潟・福井集中豪雨 ● 兵庫・京都北部台風 ●スマトラ沖地震緊急募金 ● 新潟県中越地震
2005	1,617,118	—	1,271,666	●スマトラ沖地震津波復興支援
2006	1,826,405	—	—	
2007	2,441,691 ※1	—	3,776,185	●能登沖地震 ●新潟中越沖地震

※1…内訳①ユニセフ一般募金970,846円、②ラオス指定募金500,000円、③バングラディッシュ緊急募金970,845円

### 2 環境募金の取組み

copeしがでは、毎年「環境キャンペーン」を開催し、環境にやさしい商品利用高の1%を滋賀県内の森林保全に役立てる運動に取り組んでいます。協同の取り組みとして「淡海森林クラブ」へ131,167円を贈呈し、組合員が参加する「森林の恵み～栗拾いに行こう」を企画しています。



### 3 お買い物袋持参運動の取組み

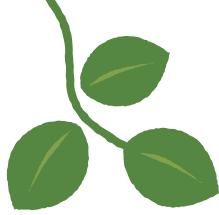
copeしがでは、1982年旧大津生協瀬田店のオープン時より、「お買い物レジ袋5円運動」に取り組んできました。組合員の協力もあり開店時から80%以上のお買い物袋持参率を維持し、2007年度は94.7%と非常に高い持参率となっています。

レジ袋代金は、「環境にやさしいお店でありたい」という組合員の願いを大切にする活動として、環境学習会のパネルや店頭のペットボトルや牛乳パックの回収箱の購入などにあてています。



### 4 ペットボトルのキャップリサイクル共同事業の取組み

社会福祉法人いしづみ会「いしづみの家共同作業所」を中心とする「ペットボトルリサイクル協議会(PCR)」の取り組みに参加し、使用済みペットボトルキャップを回収し再生商品化しています。キャップはcopeしがのお店や職員から回収し、共同作業所で洗浄・乾燥・分別・粉碎後、メーカーでモップなどのプラスチック商品にされます。環境と福祉の融合を目指す新たな社会的貢献活動として取り組んでいきます。



# 職員一人ひとりが「やりがい」「働きがい」のある職場づくりをめざしています。

## 1 コープしがでは、すべての職員のあるべき姿を「コープしが職員像」として掲げています。

「三つの心得」と「行動綱領五箇条」を常に意識し、コープしが職員としての自覚を持ち、業務を行っています。生協法第9条にかかれている「組合員に最大の奉仕をすることを目的とした」事業を通じた組合員のくらしへのお役立ちが、コープしが職員の大きな「やりがい」や「働きがい」と感じられることをめざしています。

## 2 組合員のくらしのお役立ちのため、多様な雇用形態の中で約800名が働いています。

約290名の正規職員と約520名の嘱託・パート・アルバイトが働いています。嘱託・パート・アルバイトの職種は多様化しており、特に組合員のところへ商品の配送にうかがい、情報提供をはじめとした対応を行う共同購入の「組合員担当者」の約40%はパートが担っています。また、店舗では全職員の90%以上が嘱託・パート・アルバイトによって運営されており、そのうち店長職4名、副店長職7名、チーフ職8名が役職を持って働いています。

毎年、嘱託・パートから正規職員への登用も行っており、この5年間では8名が正規職員として登用されています。

## 3 正規職員は評価制度、教育制度、賃金制度を活用し、人材開発とキャリア開発をすすめています。

コープしがでは、人材育成を第1の目的として人事制度を活用しています。

目標設定面接、中間面接、評価面接と年3回上司と面接を行い、成果や課題の確認とあわせて、態度、能力といった仕事のプロセスも評価し、評価結果による昇級試験の実施、賃金への反映や役職の登用などを行っています。また、自己申告書によるキャリアや希望職種の申告も行っています。

教育制度は、「採用時研修」「振り返り研修」「中堅職員研修」「管理者研修」などの階層別、役職別の研修のほかに、それぞれの職務を果たす上で必要な知識や技能の習得をすすめるための目的別の研修を実施しています。また、自己のキャリア開発への気づきを促すためにキャリア教育を実施し、資格取得奨励制度、自主研修活動支援制度、通信教育援助金制度なども活かし、それぞれの職員が自己開発に取り組んでいます。

## ● 職員としてのモノサシは…

### 【コープしがの職員像】

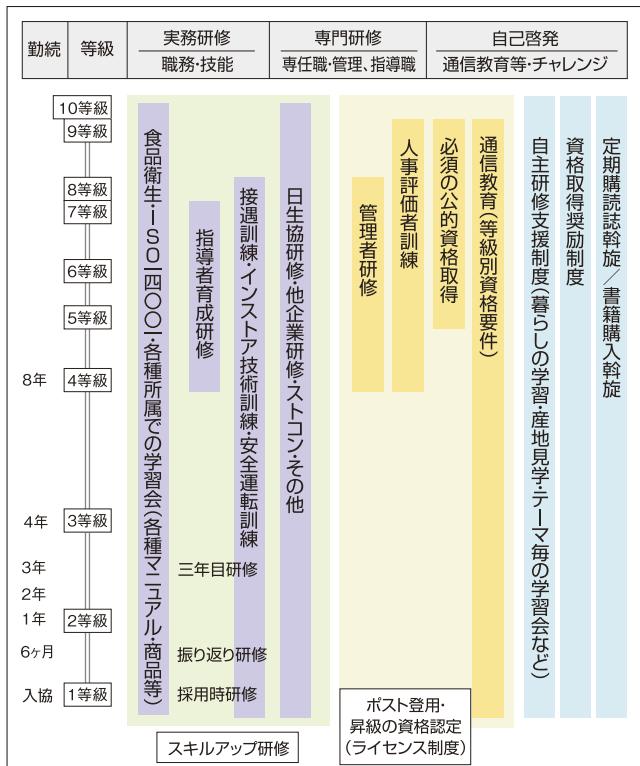
コープしがの職員は  
一人ひとりが自立し  
集団の力で前進します。

### 三つの心得

- 1.さわやかな笑顔で元気良く挨拶します。
- 2.約束や職場のルールは必ず守ります。
- 3.誰にでも正直、親切、丁寧、素直に接します。

### 行動綱領五箇条

- 1.人の痛みがわかる心をもち、地域社会に奉仕します。
- 2.常にコスト意識をもち、ムダ、ムラ、ムリをなくします。
- 3.いかなる仕事も情熱をもって、最後までやり遂げます。
- 4.豊富な知識を身につけるため、努力を惜しません。
- 5.健全な精神・健康な身体を維持します。



## 4 働く意欲を持つ定年退職者を対象にした再雇用制度があります。

copeしがでは、改正高齢者雇用安定法の施行を受けて、60歳で定年退職する正規職員を対象に「職員定年後再雇用規程」を設けています。本人の勤務時間の希望などに応じて、正規職員または定時職員として再雇用するもので、2006年3月から2008年3月までに5名を正規職員として再雇用しています。

## 5 それぞれの人の能力や適性に配慮して障害者雇用をすすめています。

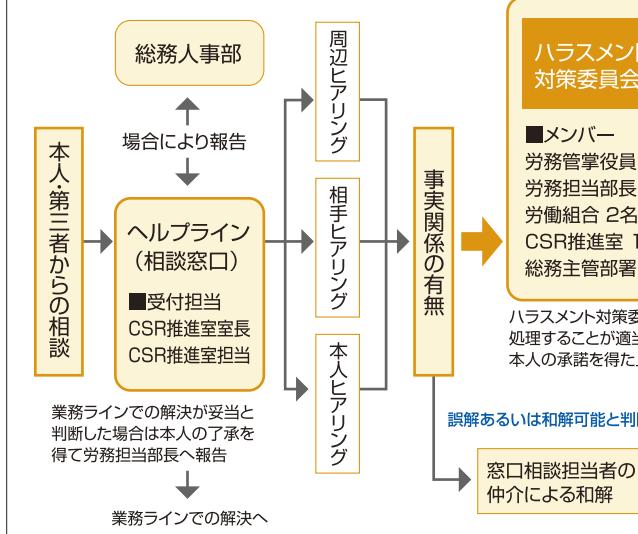
copeしがでは、事業所の障害者雇用率やその定着率などを基本に、障害者を積極的に雇用していることを評価され、平成19年度障害者雇用優良事業所に選ばれました。障害者個々の個性や能力が仕事とマッチできることを職場の中で配慮しています。2007年度末の障害者雇用率は2.63%で、法定雇用率1.8%を上回っています。



## 6 誰もが安全で安心して働く職場環境実現をめざしています。

copeしがでは、労務担当役員を委員長とし、職場の代表をメンバーとする「中央労働安全衛生委員会」と職場単位での「職場労働安全衛生委員会」を設け、労働災害発生の防止のための職場点検活動や健康増進に関する啓発活動に取り組んでいます。また、現場業務に従事する職員の腰痛対策として「腰痛体操」「腰痛検診」などに取り組んでいます。セクハラ、パワハラに関しては、「ハラスメントに関する基本方針」を掲げ、ハラスメント行為防止の啓発活動や、万一発生した場合の相談窓口、対処方法などを定めています。メンタルヘルスについては、「メンタルヘルス相談窓口」を設置し、産業医、外部医療機関などと連携をしてすすめています。

### ハラスメント(ヘルプライン)相談の処理・解決フロー



## 7 役職員相互の親睦や相互扶助、福利厚生を目的とした互助会制度があります。

copeしがでは、福利厚生の増進と相互の親睦を図り、よりよい人間関係を形成していく事を目的とした互助会制度があります。厚生旅行の実施、サークル活動などへの援助、忘年会・新年会・歓送迎会の補助、慶弔見舞い金の支給、その他、文化・健康増進企画の補助などを行っています。

## 8 育児や介護と仕事を両立できる職場づくりをめざしています。

copeしがでは、2002年より「男女共同参画推進委員会」を設置し、組織内外への男女共同参画の推進を行っています。2005年度には、女性労働者の能力発揮を促進するための積極的取組(ポジティブ・アクション)の推進が評価され、均等推進企業滋賀労働局優良企業として表彰を受けました。

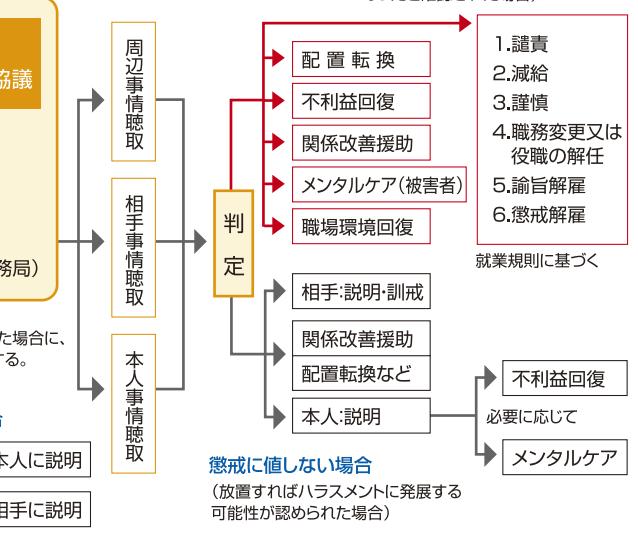
今後も育児・介護と仕事を両立支援のための制度の充実とともに、制度が活用できる職場づくりをめざしていきます。

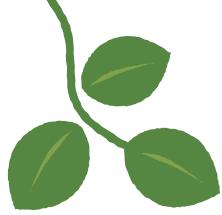


## 9 働きやすい職場づくりを労働組合とともにめざしています。

copeしが労働組合は、正規職員・パートに関して、ユニオンシップ(一定の役職者までの労働者は、労働組合に加入しなければならない)の形態をとっています。copeしがでは労働者のこころと体の健康や権利を守り、民主的な職場運営を発展・継続させていくため、労働組合との協力関係を築いています。「適正な時間管理」「時間外労働の削減」「昼休憩時間の確保」「車両運転での安全の確保」などを共同の課題として取り組んでいます。

### ハラスメント(ヘルプライン)相談の処理・解決フロー





# 地球温暖化防止のために、 自主行動計画を策定して CO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでいます。

## 地球温暖化防止自主行動計画の取り組みと実績

温暖化防止の主要な手段であるCO<sub>2</sub>の排出抑制を日本生協連の指針に基づき、地球温暖化防止自主行動計画を策定し、CO<sub>2</sub>の排出量削減に取り組みました。2007年度は「供給商品1点当たりのCO<sub>2</sub>排出量」は計画の67.9g／点に対し64.1g／点と計画を達成し、2002年度比79.4%前年比89.5%となりました。

2007年度CO<sub>2</sub>の排出量の47.0%が電気エネルギーの消費によるもので、コープしがの事業所での消費が35.0%、委託先の物流センターでの消費が11.9%となっています。また、52.1%は配送車両や委託物流車両によるもので、コープしがの車両からの排出が17%、委託車両からの排出が35.1%となっています。

### ◎CO<sub>2</sub>排出量算定の範囲

店舗・共同購入センター・コープしがの車両・委託車両・事務所・青果産直センター・物流委託先でのエネルギーを含めています。

### 温暖化防止自主行動計画と実績

	単位	2006年度 実績	2007年度 実績
使用量	電気	kwh	3,507,274
	A重油	L	0
	灯油	L	18
	ガソリン(生協車両)	L	99,942
	軽油(生協車両)	L	80,584
	LPG(生協車両)	L	34,053
	都市ガス	m <sup>3</sup>	4,199
	LPG(事業所用)	m <sup>3</sup>	262
	廃プラスチック類	kg	11,311
CO <sub>2</sub> 排出量	kg	2,832,004	2,842,154
	%	100.0%	100.4%
商品供給点数	千点	37,856	40,943
	%	100.0%	108.2%
商品供給点数あたり CO <sub>2</sub> 排出量	g/点	74.81	69.42
	%	100.0%	92.8%

## 1 ゼロエミッションの継続・改善(廃棄物)

### 目的

「地球温暖化防止自主行動計画」に沿って取り組みを深め、廃プラスチックのリサイクルを進めます。

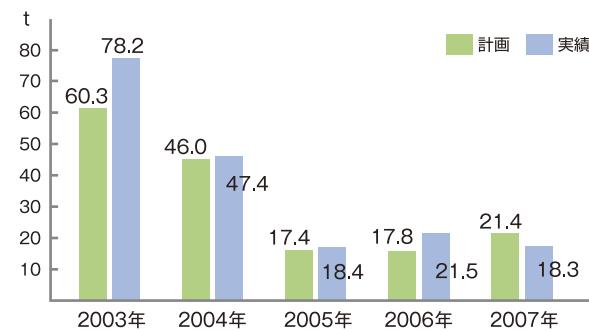
### 目標

各事業所の事業系廃棄物と生活系廃棄物の分別計量を継続し、事業所毎の自主目標を策定して管理します。

店舗での適正発注と廃棄ロス削減に向けた取り組みを進めます。

ゼロエミッションの定義を見直します。

ゼロエミッションの取り組みでは事業活動で排出する廃棄物の分別とリサイクルに取り組みました。2007年度に焼却場で燃やされたり埋め立て処理された廃棄物は18.3トンとなり、計画比85.5%となりました。店舗で進めてきた廃棄ロスは、2006年度実績1.35%に対して1.21%となり目標を達成しました。また、2004年に策定した「コープしがの目指すゼロエミッションの定義」を見直し、新たに「コープしがの目指す資源循環社会の構築に向けた方針」を策定しました。



## 2 エネルギー・資源の有効活用

### 目的

事業所の統合移転・閉鎖時に、設備の環境対策を検討実施して、エネルギーの有効活用をはかり、環境負荷の低減を進めます。

### 目標

事業所毎に電気使用量、事務用紙使用量の自主目標を策定して管理します。

都市ガス・LPガス・灯油・自動車燃料・水道水使用量の実績把握を行います。

2007年度の電気使用量は4,453千kwhとなり、計画比96.7%の使用量で計画を達成しました。共同購入センター（2事業所）に冷凍冷蔵庫のコンプレッサーをコントロールして消費電力を削減する機器を導入しました。

また、電気以外のガスや自動車燃料の実績把握も継続し、地球温暖化防止自主行動計画の策定に向け取り組みました。事務用紙の使用量は各事業所毎に使用計画を策定し、紙を使用してきました。



## 3 省エネ運転の推進

### 目的

環境に配慮した車両の導入を進め、省エネ運転を推進して、CO<sub>2</sub>・NOX・SOX・黒煙などの排出を抑制します。

### 目標

CO<sub>2</sub>排出量の比較的少ないディーゼル車両の導入を引き続き進めます。

駐車場、荷受け場でのアイドリングストップの啓発を行います。

配送車両の省エネ運転を推進します。

2007年3月からの変動はガソリン車両トラックが21台減少、ディーゼル車両トラックが22台増加、LPG車両トラックが4台減少して合計182台となり、トラック車両は3台減少し、軽・乗用車が6台増加しました。

また、コープゼゼから排出した廃てんぶら油をBDFに再生し、環境マネジメントセンターのトラックで使用する取り組みをスタートさせました。

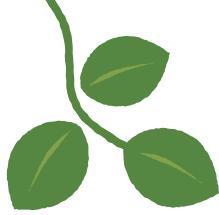
その他、各共同購入センターの入り口にアイドリングストップの表示を新たに追加して啓発を強化し、安全運転推進委員会では省エネ運転を含めた運転マニュアルを作成しました。

### 車両台数

単位：台

燃料	軽・乗用車	トラック・バン
LPG		18
ガソリン	59	42
軽油		121
BDF5%軽油		1
合計	59	182
		241





# 環境に配慮した商品づくりをめざし、 産直商品やリサイクル商品の普及に 努めています。

## 1 環境に配慮した商品企画(共同購入)

### 目的

産直商品の普及強化を行い、共同購入案内書の環境負荷を実態把握します。

### 目標

農産、畜産、米、卵、牛乳部門について環境配慮商品企画回数の数値目標を定め2006年度の実績を維持します。

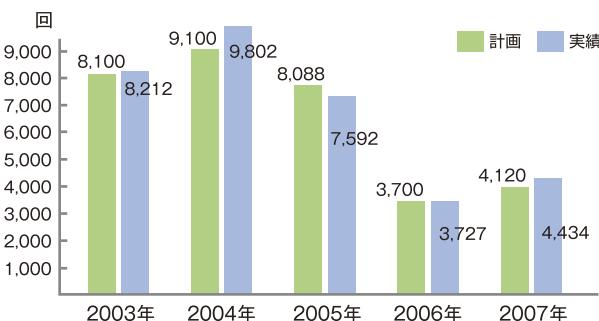
グリーンサポートの取り組みを再強化し、組合員の産直米体験ツアーを実施するとともに、産直農産物余剰加工の実験取り組みを進めます。

共同購入案内書の配布実態を、配布する対象・用途・種類別に実績を把握します。

共同購入案内書エコーでの環境に配慮した商品の年間企画回数は、商品企画の多くがコープきんき事業連合に統合されたため、コープしが独自で企画する農産、畜産、米、卵、牛乳部門について企画目標を策定し取り組みました。実績は延べ4,434回となり、2007年度の計画を達成しました。

「安心野菜・安心果物」では、産直生産者を支援するグリーンサポートに取り組み、延べ11,211個の供給実績を上げました。組合員の産直米体験ツアーは2回実施し、延べ355名が参加しました。

2007年度のエコーその他の共同購入案内書配布量は約2,580トン、回収量は約1,779トンで回収率は68.9%となりました。



## 2 店舗における環境活動

### 目的

「環境キャンペーン1%募金」に参加し、水環境への配慮とリサイクル商品普及の取り組みを進めます。

### 目標

日生協の洗剤キャンペーン(7月、10月)に合わせて、対象となる洗剤の普及に取り組みます。

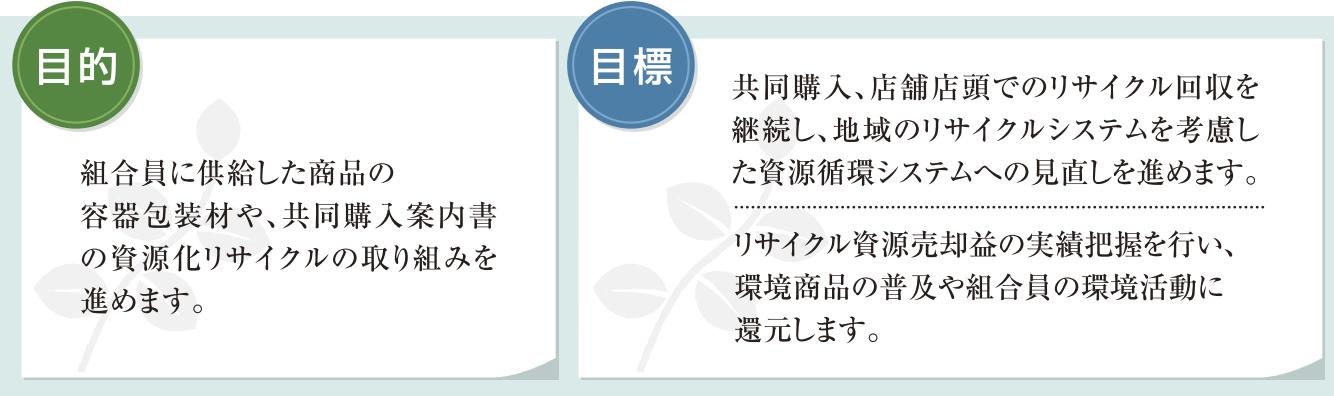


毎月2品のリサイクルパルプ100%トイレットペーパーの普及を行い、ソフト芯なしロールとCOOPワンタッチ芯までロール(コープきんき)を毎月企画します。

2007年度は毎月2品目のリサイクルペーパーの普及を進め、イベントセールと5%オフセールで2,288千円の供給実績となりました。

# ペットボトル、牛乳パック、共同購入案内書などの資源化リサイクルをすすめています。

## 1 リサイクル活動の推進



店舗でのリサイクル資源の回収はPETボトルが12,194kg、トレーが6,584kgでした。共同購入の玉子パックの回収量は19,746kgとなり、牛乳パックは店舗と共同購入合わせて57,290kgとなりました。

共同購入案内書のリサイクル率は68.9%となりました。



**店舗回収実績** 単位:kg

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
PETボトル	11,388	12,392	12,776	12,194
トレー	4,048	4,371	5,025	6,584
PETボトルキャップ	—	—	—	558

**共同購入回収実績** 単位:kg

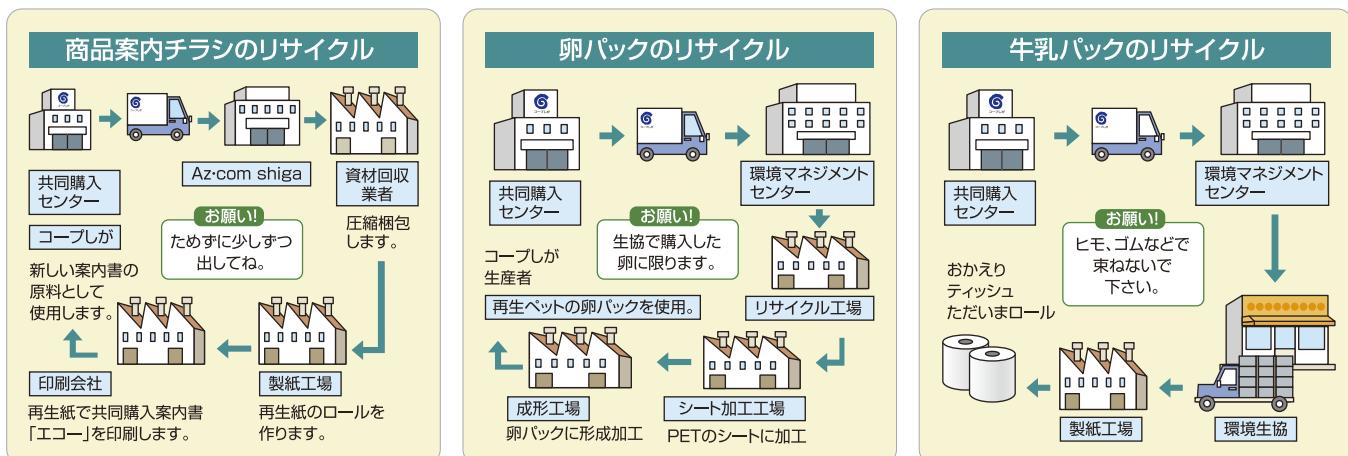
	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
卵パック	19,453	19,313	21,936	19,746

**牛乳パック** 単位:kg

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
共同購入	47,887	45,790	45,119	47,663
店舗回収実績	9,643	9,620	9,481	9,627
合計	57,530	55,410	54,600	57,290

**共同購入案内書の回収率** 単位:kg

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
配布量	2,342,145	1,965,217	2,324,435	2,579,859
回収量	1,404,750	1,326,490	1,544,840	1,778,798
回収率	60.0%	67.5%	66.5%	68.9%



# copeしが環境マネジメント方針

## 【事業運営理念】

世界的な気候変動が顕在化する中、その影響は私たちの琵琶湖にも確実に現れつつあります。copeしがは、事業活動を媒介として行う環境対策を様々な角度から「科学的視点」を持って追求し、着実に実践します。

組合員・取引先と協力して、持続可能な生産と消費を橋渡しすることを事業運営の重要な課題とします。

- ① ISO14001の要求事項に適合した環境マネジメントシステムを維持し、継続的に改善します。
  - ② 関連する法規制・利害関係者との協定事項及び組織が認めたその他の要求事項を順守します。
  - ③ 事業活動及び商品・サービスの供給において、環境に与える影響を考慮し、事業者としての役割と責任を果たすと共に、様々な団体との連携・協力を強め、資源・エネルギーの循環を妨げない環境保全型社会の実現に向けて、活動をすすめます。
- 

## 【行動指針】

- ① copeしがが取り扱う商品とサービスの環境影響の把握に努め、環境への配慮を徹底します。
  - ② 廃棄物の削減、省資源、省エネルギー、資源リサイクルの仕組みを維持し、自然の物質・エネルギーサイクルと調和した循環社会を目指します。
  - ③ 排気ガスによる大気汚染や、限られた地下資源の浪費を防ぐため、アイドリングストップ運動に取り組み、環境負荷がより少ない車両の導入をはかります。
  - ④ 琵琶湖を中心にある湖国しがの自然環境と人々のくらしを守るエコライフの取り組みを、地域の人たちと協力しあう組合員の「くらしの見直し活動」を通して推進します。
  - ⑤ 事業活動に伴うCO<sub>2</sub>の排出抑制を全国的に提案する日本生活協同組合連合会の呼びかけに答えて、copeしがの「自主行動計画」を策定し、限りある地下資源の浪費を抑制する環境活動の指標とします。
- 

## 【環境マネジメントシステムの継続的改善】

- ① 担当役員を責任者とする環境マネジメントシステムを確立し、事業活動に伴う環境負荷の低減に向けたシステムの見直しと改善を、計画的、組織的、継続的に行います。
- ② 環境マネジメントシステムをcopeしがの社会的責任経営の柱として、copeしがの理念や方針を職員に周知徹底し、職員の環境意識向上に努めるとともに、日常の業務を通じて環境保全に取り組みます。
- ③ この環境マネジメント方針とcopeしがの環境マネジメントの成果は、組合員と地域の人たちに公開し、行政や地域の諸団体と協力して、地球環境の保全に貢献します。

2008年3月11日 生活協同組合copeしが  
理事長 西山 実

# 内部環境監査、組合員環境監査、 そしてISO認証審査により 環境活動の点検を行っています。

copeしがの環境監査はISO14001環境マネジメントシステムに基づくISO内部環境監査委員会による内部環境監査(第1者監査)とcopeしがの組合員と職員を主体とする環境監査委員会による組合員環境監査(第2者監査)、さらに、ISO14001規格への適合性を審査するISO審査機関による認証審査(第3者監査)を実施しています。



## ISO内部環境監査委員会

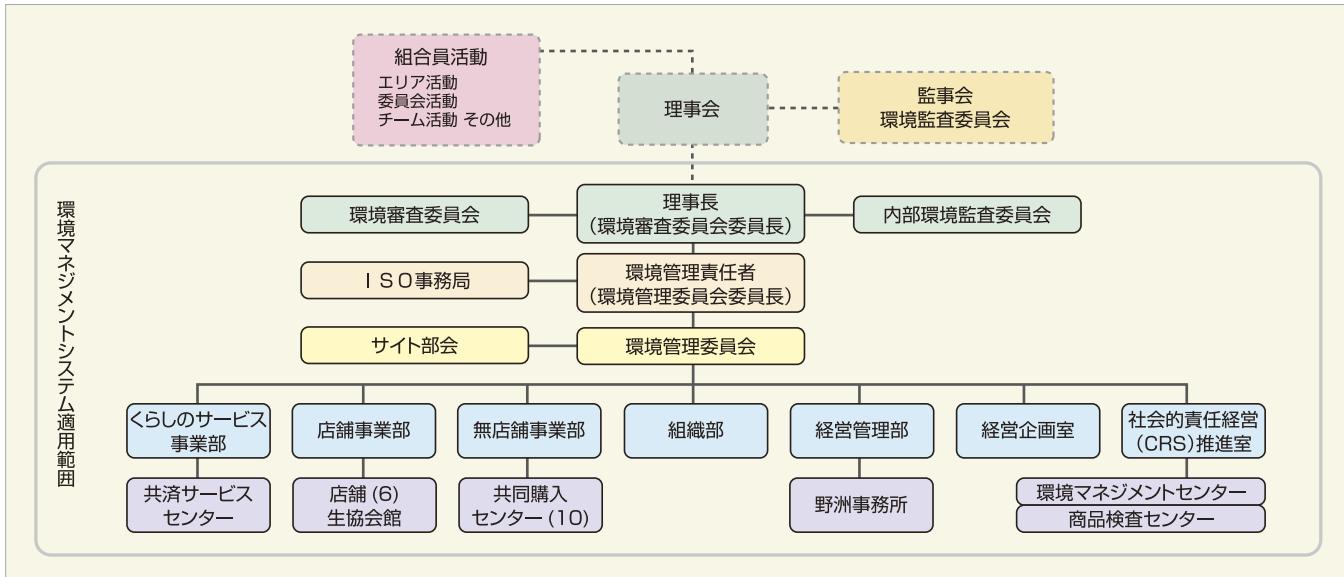
ISO14001環境マネジメントシステムの規程に基づき、理事長が任命する内部環境監査員が各事業所を訪れ監査を実施しました。環境マネジメントシステムの執行状況や記録の有無など不適合のチェックと是正について確認し、理事長に報告しました。また、2007年度は滋賀県立大学のサークル「環境マネジメント事務所」の研修として学生を内部環境監査に受け入れ、新たな視点からの環境マネジメントシステムの改善などにも取り組みました。

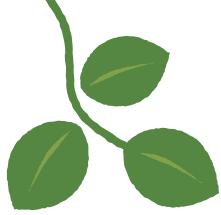
## 環境監査委員会

ISO内部環境監査がcopeしがの理事会や組合員活動を監査対象としていないことに対して、環境監査は理事や組合員の環境活動も監査対象とし、ISO14001環境マネジメントシステムと組合員活動を含めた生協活動全般に対する監査としてその結果を総代会に報告しています。

2007年度は組合員6名職員4名でISO14001サーベイランス審査やISO内部環境監査への立ち会いや事業所往査を実施し、事業所組合員環境活動及び地域と連携した活動の状況、環境商品活動、各事業所の取り組み及びゼロエミッション達成への進捗状況などを監査しました。

## 2007年度環境マネジメントシステム体制図





# 環境保全活動の全体を コストと効果の観点で把握し、 活動の効率化を図っています。

環境会計は、「環境保全活動の全体をコスト及び効果の観点から貨幣表示・物量表示・記述情報により把握し公表する体系」として定義し、「環境保全活動の経済収支計算に留まらないもの」として捉え、企業会計の一部を構成するものではなく、環境マネジメントの推進のための一つのツールとして導入しました。これは、環境保全活動（投資・費用支出）に関連する効果を把握し、経済的効果（貨幣表示）と環境保全効果（物量表示と記述情報）で表現しています。

また、2007年10月より事務用品等の消耗品の購買システムを整備してグリーン購入対応物品の購入実績の把握を開始しました。

## ■ 環境保全コスト

2007年度の環境保全に使った総経費は81,779千円となり、2006年度比99.2%となりました。

事業経費に占める割合は約1.39%となりました。

環境保全コスト

コスト分類	環境保全活動	2007年度実績(円)	2006年度実績(円)	前年比	取り組み内容
直接コスト	大気汚染防止コスト 低公害車の導入	2,189,855	3,564,229	61.4%	・LPG車両、ハイブリッド車両の減価償却費等
	公害防止コスト 浄化槽、グリストラップ管理	1,785,746	2,201,211	81.1%	・浄化槽、グリストラップ点検・清掃・汚泥処理費管理費用 ・高性能合併浄化槽の減価償却費
	地球環境保全コスト 蓄熱空調機、電圧調整器等の省エネ設備の導入	4,584,349	3,163,323	144.9%	・エコアイス、デマンドコントローラー、電圧調整器等の減価償却費
	廃棄物処理・リサイクルコスト 廃棄物抑制	4,561,762	7,104,190	64.2%	・生ゴミ・廃プラスチックのリサイクル・車両リサイクル費用 ・生ゴミ処理機、圧縮機等の減価償却費
		産業廃棄物	6,533,205	8,194,619	79.7%
	事業系一般廃棄物	2,650,845	2,856,676	92.8%	・廃棄物の適正処理
		22,305,762	27,084,248	82.4%	
間接コスト	職員への環境教育等	107,950	107,950	100.0%	・環境教育用テキスト、ビデオ、研修会
	環境マネジメントシステムの構築、運用、認証取得	864,144	880,443	98.1%	・ISO審査費用、内部監査員養成、研修費用
	環境対策組織の人件費等	42,220,554	40,116,845	105.2%	・環境部署の人件費、環境監査員活動費
		43,192,648	41,105,238	105.1%	
商品コスト	容器包装・媒体等のリサイクル・回収再商品化	15,312,536	13,233,242	115.7%	・再商品化義務委託料・容器包装等のリサイクル(物流費、袋、啓発促進費)、 ・有価物(牛乳パック、たまごパック、ペットボトル、等) ・チラシ、カタログ、OCR用紙回収・リサイクル
			15,312,536	13,233,242	115.7%
社会的取組コスト	組合員の環境活動の支援	517,280	411,046	125.8%	・環境学習活動支援、自主グループ活動支援、補助活動支援の資料 ・ツール作成・提供、等
	団体等への支援、寄付、環境団体の会費	151,167	131,038	115.4%	・環境キャンペーン1%募金、滋賀GNP他会費
	環境情報提供のためのコスト	300,000	438,900	68.4%	・環境報告書等の作成
		968,447	980,984	98.7%	
総合計		81,779,393	82,403,712	99.2%	

## ■ 環境保全効果・経済的効果

事業系一般廃棄物として焼却処理した廃棄物は約19トンとなり、2006年度比89.4%に削減しました。仕分け袋のマテリアルリサイクル（再資源化）した量は昨年比179.1%となり、産業廃棄物としてサーマルリサイクル（発電の燃料として熱利用）した廃プラスチックの量は昨年比115.6%となりました。

経済的効果

	経済的効果額		昨年比	備考
	2007年度実績	2006年度実績		
環境活動に伴う経済効果				
リサイクルにより得られた収入額(円)	849,536	644,349	131.8%	たまごパック、牛乳パック等売却益
サーマルリサイクルで回避された廃棄物量(kg)	36,930	33,990	108.6%	ラベル付き仕分け袋+梱包材等
環境配慮商品の普及に伴う経済効果				
環境配慮商品の普及による供給高(円)	2,563,381,926	2,563,521,414	99.9%	コーポレート・コミュニケーションによる環境配慮商品の普及による供給高(円)

## 「滋賀の環境活動とコープしがの環境活動」年譜

1973年	■「びわこ汚染防止対策」県・市への要請運動
1976年	■空き瓶のリサイクル運動
1977年	■琵琶湖に初の大規模な赤潮が発生 ■家庭天ぷら油を集める「廃食油回収運動」を県内で展開
1979年	■家庭の合成洗剤を粉石けんに交換引取運動
1980年	■滋賀県「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」制定施行
1983年	●旧大津生協・瀬田店で買い物袋持参運動スタート（レジ袋有料化5円）
1987年	■「抱きしめてBIWAKO」開催（20万人参加）
1988年	■「よみがえれ琵琶湖」署名運動（34万筆）
1991年	■滋賀県環境生活協同組合設立
1993年	●コープしが発足「環境元年宣言」を発表 ●シルヴィコープ彦根店にソーラー発電システムを設置 ●買い物袋持参運動（レジ袋有料化5円）をコープしが全店舗で展開
1994年	●LPG配送車両の導入
1995年	●「環境憲章」を制定
1999年	●ISO14001認証を取得
2000年	●「環境マネジメントセンター」開設
2001年	●大津市と環境保全協定を締結
2002年	●ISO14001認証を更新
2004年	●ゼロエミッションを定義 全店舗、共同購入センターで事業系生ゴミのリサイクルをスタート
2005年	●ISO14001認証を更新
2006年	●北大津センターに発電設備を内蔵したガスヒートポンプを導入
2007年	●廃食油をバイオディーゼル燃料（BDF）に再資源化

■は、行政・他団体と一緒に取り組んだ活動 ●は、コープしが独自の活動（旧大津生協の活動も含む）